

米沢市公共施設等総合管理計画
公共施設ワークショップ報告書

平成 28 年 12 月

山形県米沢市

目次

1. ワークショップの概要	1
2. ワークショップの内容と参加者からの主な意見	2
2. 1. 第1回ワークショップ	2
2. 2. 第2回ワークショップ	15
2. 3. 第3回ワークショップ	29
3. 参加者アンケート	49

1. ワークショップの概要

(1) 目的

市民と、本市の公共施設やインフラの現状と課題を共有し、今年度に策定をする「公共施設等総合管理計画」の取組について理解を深めてもらうとともに、このワークショップで得られた意見を米沢市公共施設等総合管理計画策定の際の基礎資料として活用し、計画に反映することを目的とします。

(2) 全体スケジュール

回	開催日時	概要
第1回	8月25日(木) 18:00~21:00	1 公共施設の現状と施設再編の取組事例について (講師：鈴木 利勝氏) 2 米沢市の公共サービスについて意見交換 第1回で配布する資料中の各サービスを以下の3つについて検討する。 ①サービスの提供場所(サービスが必要な圏域・理由、特徴) 自分が住む地域、隣の地域、市全体、近隣市町村 ②サービスに対する行政の関わり方 (行政による提供が良い理由・民間による提供でもよい理由) ③サービスの組み合わせ(組み合わせた方がよい理由) 3 各班の発表
第2回	9月13日(火) 18:00~21:00	1 20年後の米沢市(施設再編シミュレーション) 施設の維持保全・複合化等による有効活用、無駄・不要な施設の廃止、民営化などの多様な手法を用いてシミュレーションを行う。対象施設(「施設・建物」と「サービス・機能」)について第1回の結果も踏まえ作業を行う。 2 各班の中間発表(グループの方向性とコンセプトの決定)
第3回	10月5日(水) 18:00~21:00	1 20年後の米沢市(施設再編シミュレーション) 第2回に引き続き、最終発表に向け作業を行う。その際に、第2回の施設再編シミュレーションを実施することで、不都合に感じる利用者や問題点がないかなど、多様な利用者の視点(様々な世代、性別、暮らし方、働き方など)から再検討する。 2 各班の最終発表と講評(講師：鈴木 利勝氏)

(3) 開催場所 伝国の杜

(4) 参加者

- ・ワーキング委員(主査級) 20人
- ・一般参加者 29人

合計 49人

2. ワークショップの内容と参加者からの主な意見

2.1. 第1回ワークショップ

(1) 第1回ワークショップの内容

米沢市の公共施設について、施設（建物）とサービス（機能）を切り離し、

- ① サービスの提供場所
- ② サービスに対する行政の関わり方
- ③ サービスの組み合わせ

の3つの利用者の視点で評価・検討を行い、その理由を考えていただきました。

(2) 第1回ワークショップの実施手法

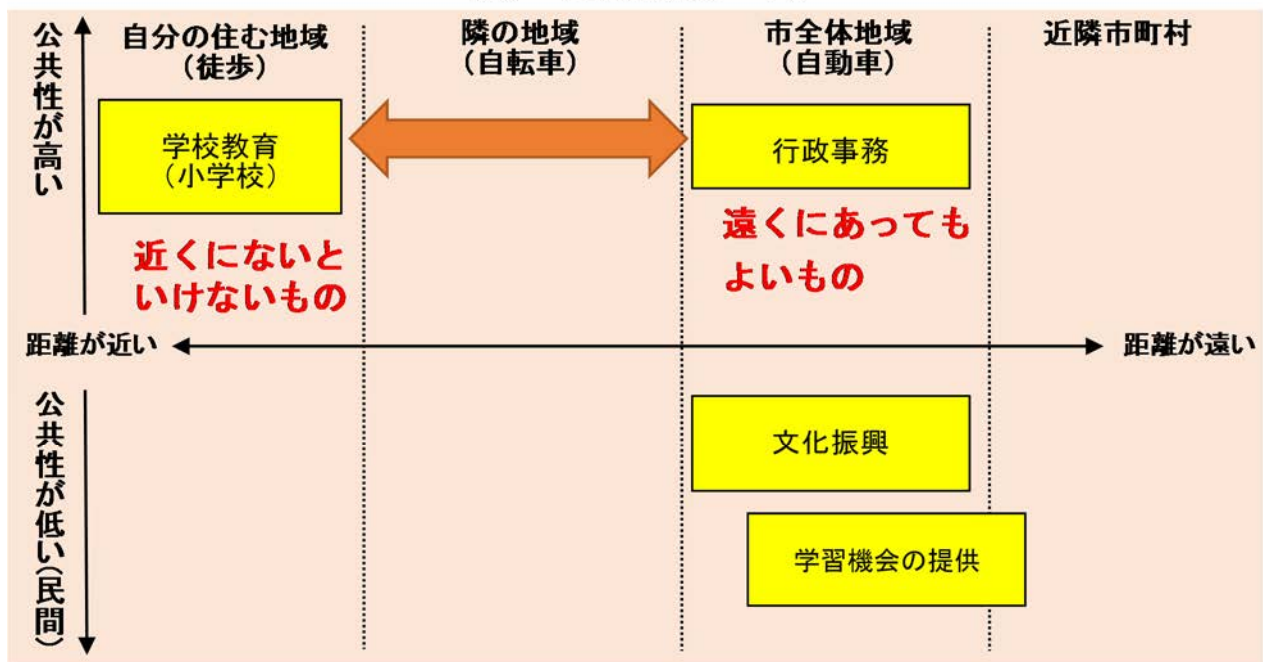
① サービスの提供場所を考えよう

利用者の視点からサービスを提供する場所として、家の近くになければいけないのか、遠くにあってもよいのか、あるいは、近隣市町にあればよいのかを考えます。

距離の目安として、次の4つを設定しました。

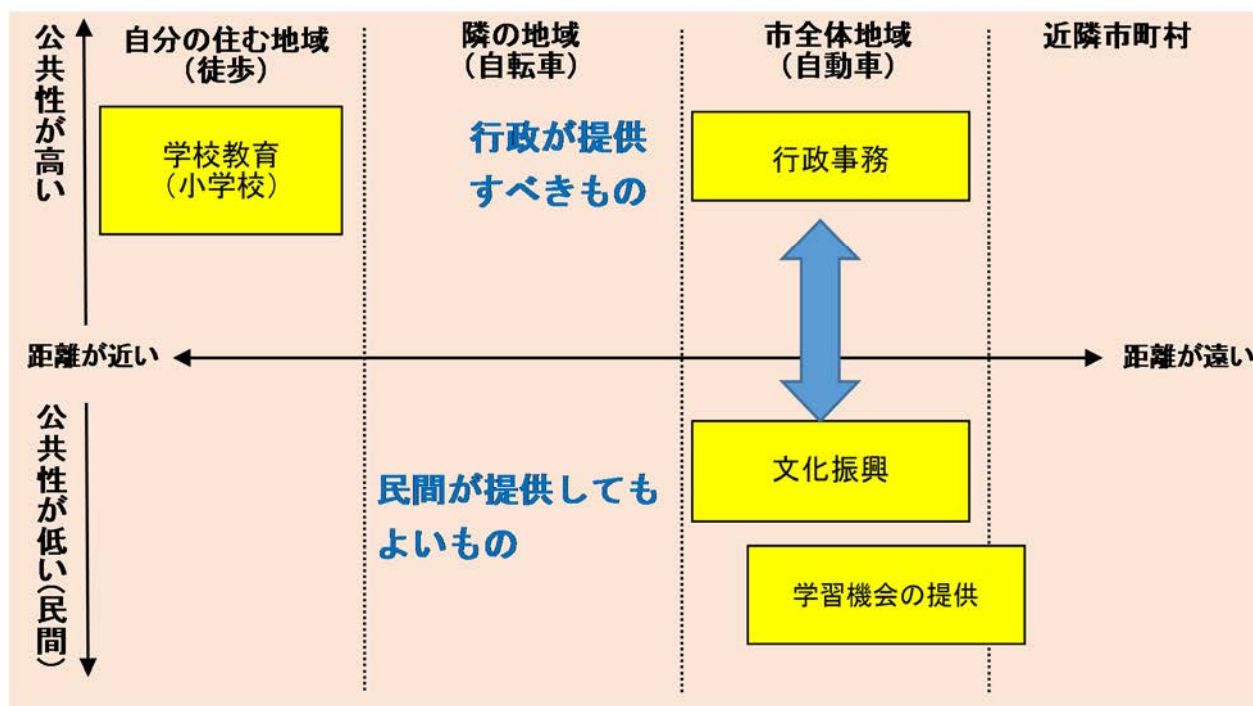
- | | |
|------------|--|
| i) 自分が住む地域 | ・ 徒歩圏内の場所 (3km 程度) |
| ii) 隣の地域 | ・ 自転車で行くような場所 (6km 程度) |
| iii) 市全体地域 | ・ 米沢市のどこかに一つあればよい
自動車やバスなどの公共交通機関 (10km 程度) |
| iv) 近隣の市町村 | ・ 米沢市内になくても構わない (20km 程度) |

【サービス検討シート】



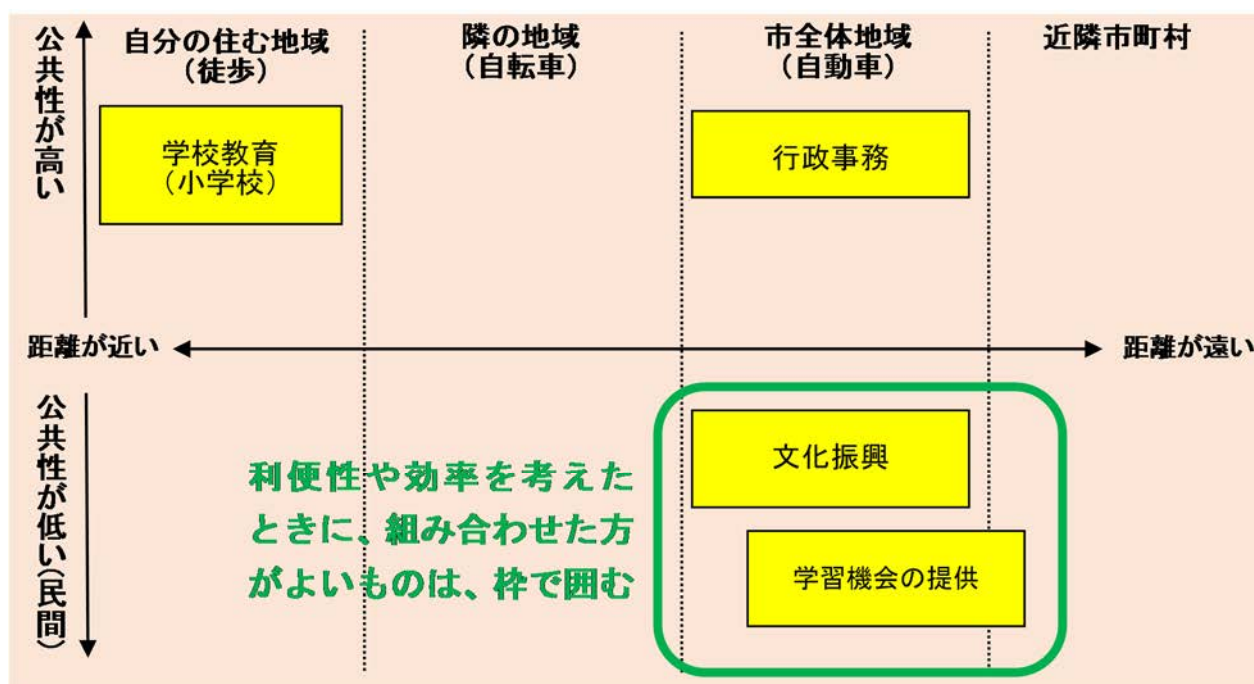
② サービスに対する行政の関わり方を考えよう

サービスの提供を市で行うべき(公共性が高い)か、民間が提供してもよい(公共性が低い)かなど、現在のサービスを市民の税金の負担で、市から提供する必要があるかを考えます。



③ サービスの組み合わせを考えよう

利用しやすいサービスの提供を実現するためには、現在のサービスをどのように組み合わせるのがよいか考えます。



◎ お考えいただいたサービスは、次の 16 項目になります。

サービス	施設例
① 図書の貸出	図書館
② 学校教育(小学校)	各小学校
③ 学校教育(中学校)	各中学校
④ 行政事務	市役所庁舎
⑤ 文化振興	市民文化会館、上杉博物館など
⑥ 屋内運動場	市営体育館
⑦ 屋外運動場	野球場、サッカー場など
⑧ プール	市営プール
⑨ 保育園・児童館	吾妻保育園等、児童センター
⑩ 会議室等の提供	文化センター、アクティー
⑪ 多目的利用の場の提供	コミュニティセンターなど
⑫ 観光施設	田沢道の駅など
⑬ 産業振興施設	林業センター、笹野民芸館
⑭ 学習機会の提供	置賜総合文化センター、児童会館など
⑮ 総合病院	市立病院
⑯ 災害対応(備品備蓄・地域開放)	指定避難場所

(3) 第 1 回公共施設ワークショップの参加者の主な意見

以下にまとめた意見は、ワークショップ参加者が客観的な視点で自由に意見交換した内容を、取りまとめたものなので、詳細な事業検討を行ったものではありません。

① サービスの提供する場所

自分が住む地域（徒歩圏・自転車圏）に必要だという意見が多かったサービスは、学校教育(小・中学校)、保育園・児童館、多目的利用の場の提供、災害対応などがありました。

それ以外のサービスについては、市全体として 1 つまたは近隣の市町村にあればよいという意見が挙げられています。

表 サービスの提供場所に関する検討結果概要（１／２）




















			
自分が住む地域 （徒歩圏）	隣の地域 （自転車圏）	米沢市全体地域 （自動車・バス圏）	近隣の市町村
3km程度	6km程度	10km程度	20km程度

サービス	各班の意見						必要な圏域	決定した理由	少数意見
① 図書の貸出	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏	【自動車・バス圏】 ナセBAの活用	【自転車圏】 学生は自転車移動が多い
② 学校教育 （小学校）	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	徒歩圏～ 自転車圏	【徒歩圏】 災害時には避難所として活用 【自転車圏】 少子化のため統合し、スクールバスを活用する	【自動車・バス圏】 スクールバスの方が安全・安心
③ 学校教育 （中学校）	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自転車圏～ 自動車・バス圏	【自転車圏】 体力もつので移動距離があっても問題ない	【自動車・バス圏】 少子化のため統合し、スクールバスを活用する
④ 行政事務	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏	【自動車・バス圏】 利用頻度が低い	【自転車圏】 コミュニティセンターに出先機関があるといい
⑤ 文化振興	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏	【自動車・バス圏】 産業、観光施設と一体化し活用する	
⑥ 屋内運動場	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏～ 近隣の市町村	【自動車・バス圏】 屋内・屋外・プールを市内一カ所にまとめれば便利 【近隣の市町村】 広域で利用できればいい	【徒歩圏・自転車圏】 手軽に利用できるよう近場にあった方がいい

※提供場所が各区分の境界線上に設定されたものについては、一部許容されたものと見なし、遠い方の地域を採用しています。

表 サービスの提供場所に関する検討結果概要（２／２）

			
自分が住む地域 （徒歩圏）	隣の地域 （自転車圏）	米沢市全体地域 （自動車・バス圏）	近隣の市町村
3km程度	6km程度	10km程度	20km程度

サービス	各班の意見						必要な圏域	決定した理由	少数意見
⑦ 屋外運動場	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏～ 近隣市町村	【自動車・バス圏】 各種運動施設を市内一カ所に まとめれば便利 【近隣の市町村】 広域で利用できればいい	
⑧ プール	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏～ 近隣市町村	【近隣の市町村】 広域で利用できればいい	
⑨ 保育園・児童館	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自転車圏～ 自動車・バス圏	【自転車圏】 近い方が安心	【自動車・バス圏】 保育園は送迎が前提
⑩ 会議室等の 提供	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自転車圏～ 自動車・バス圏	【自動車・バス圏】 利用頻度も少ないため市内に1 カ所あればいい	【徒歩圏】 飲食も伴う会議は近くにあ ると便利 【自転車圏】 大学生は自転車移動のため 近くにあると便利
⑪ 多目的利用の 場の提供	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	徒歩圏～ 自転車圏	【自転車圏】 移動距離は短い方がいい	
⑫ 観光施設	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏～ 近隣市町村	【自動車・バス圏】 工場見学と観光を組み合わせ、 産業振興と一体で実施してはどう か 【近隣の市町村】 広域で利用できればいい テーマパークを誘致してはどう か	
⑬ 産業振興施設	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	近隣市町村	【近隣の市町村】 広域で利用できればいい	【自動車・バス圏】 文化振興、産業と一体化し活 用する
⑭ 学習機会の 提供	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏	【自動車・バス圏】 図書館、会議室と一体化し活用 する	
⑮ 総合病院	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	自動車・バス圏	【自動車・バス圏】 市内の中心部にあった方が安心 いい	【近隣市町】 広域病院があれば近くには サテライト的に展開すればいい
⑯ 災害対応 （備品備蓄・地域開放）	1班 	2班 	3班 	4班 	5班 	6班 	徒歩圏	【徒歩圏】 災害時は小学校やコミセンを避 難所として活用	

※提供場所が各区分の境界線上に設定されたものについては、一部許容されたものと見なし、遠い方の地域を採用しています。

② サービスに対する行政の関わり方

行政の関わり方について、民間運営でもよい、または民間のサービスで代替可能という意見が多かったサービスは、文化振興、プール、保育園・児童館、会議室等の提供、観光施設、産業振興施設、学習機会の提供などが挙げられます。

その他のサービスでは、意見が分かれることもあり、一定の行政関与も求められています。

表 サービスの行政の関わり方に関する検討結果概要

	行政による提供
	どちらともいえない
	民間による提供

※各班の意見を色別にして集計しました。

「どちらともいえない」に分類しているのは、横軸上にあるものです。

サービス	各班の意見						民間の提供でもよい主な理由	行政による提供がよい主な理由
① 図書の貸出	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・複数の施設(サービス)をまとめられれば民間でも可能	・教育の観点から行政が担うべき ・図書の貸出だけでは利益が出ない ・古文書等の貴重な資料は行政が管理すべき
② 学校教育(小学校)	1班	2班	3班	4班	5班	6班		・義務教育
③ 学校教育(中学校)	1班	2班	3班	4班	5班	6班		・義務教育
④ 行政事務	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・事業の内容によっては民間へ委譲できるものもある	・公共性が高い業務がほとんどである ・利益の上がらない業務は切り捨て等サービス低下を招く
⑤ 文化振興	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・複数の施設(サービス)をまとめられれば民間でも可能	
⑥ 屋内運動場	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・民間でも運営している	・民間では利益が上がらない ・大規模スポーツ施設は近隣市町で広域的に活用する
⑦ 屋外運動場	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・民間でも運営している	・民間では利益が上がらない
⑧ プール	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・スイミングスクールを運用できれば民間でも可能	
⑨ 保育園・児童館	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・実際にほとんどは民間が実施	・民間が補えないサービスは行政で対応
⑩ 会議室等の提供	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・多目的利用の場の提供を一緒にすると民間でも可能	
⑪ 多目的利用の場の提供	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・会議室等を一緒にすると民間でも可能	
⑫ 観光施設	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・民間活力で十分運営できる ・文化、産業と一体化し魅力ある施設運営によって集客を図る	・上杉神社など文化的な観光資源は営業利益のみを追及できない
⑬ 産業振興施設	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・民間のノウハウを活用	
⑭ 学習機会の提供	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・複数の施設(サービス)をまとめられれば民間でも可能 ・民間施設(空き家)を活用	
⑮ 総合病院	1班	2班	3班	4班	5班	6班	・事業内容によっては民間委譲	・経営的に採算が合わない科は行政の役割 ・救急体制は民間では難しい
⑯ 災害対応(備品備蓄・地域開放)	1班	2班	3班	4班	5班	6班		・行政が担うべき ・国及び県との連携が必要不可欠

※各班の意見を色別にして集計しました。「どちらともいえない」に分類しているのは、横軸上にあるものです。

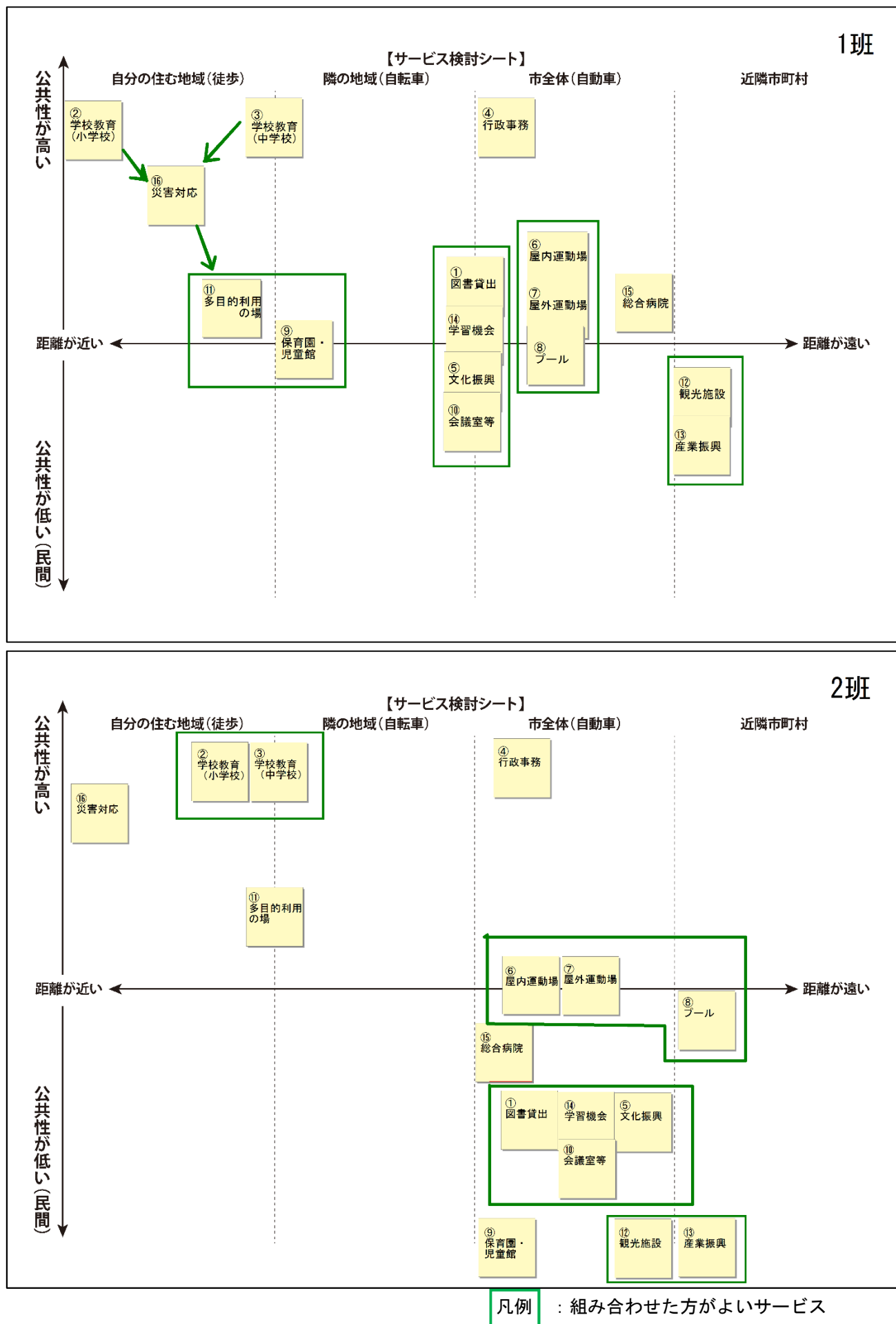
③ サービスの組み合わせ

組み合わせについて、各班で共通して意見が出ている代表的なものとして、図書の貸出と文化振興、学校教育と災害対応、屋内運動場と屋外運動場、観光施設と産業振興施設などが挙げられます。行政事務と総合病院に関しては、組み合わせの意見は出ませんでした。

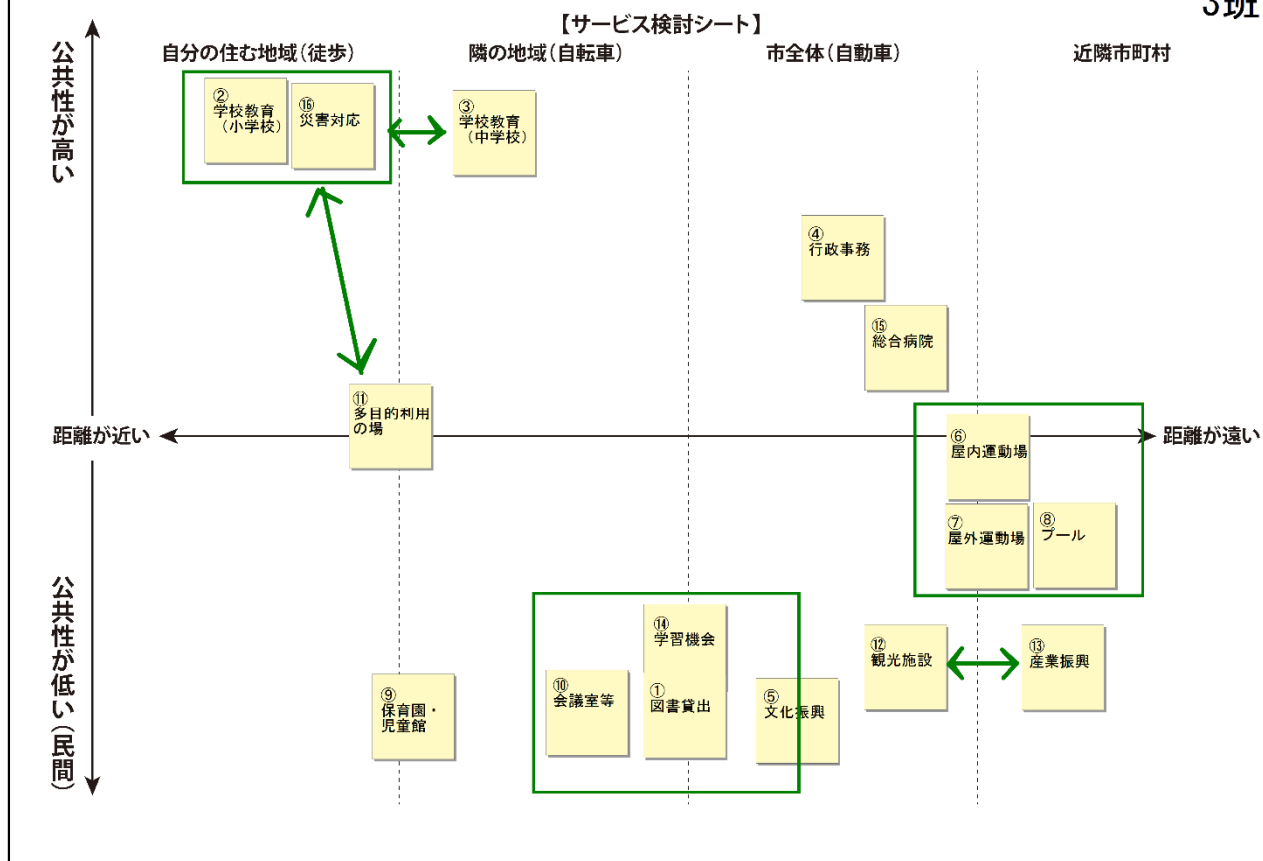
表 サービスの組み合わせに関する検討結果概要

サービス	各班の検討結果(組み合わせているサービス)						過半数の班で出た意見
	1班	2班	3班	4班	5班	6班	
① 図書の貸出	⑤ ⑩ ⑭	⑤ ⑩ ⑭	⑤ ⑩ ⑭	⑤	⑩ ⑭	⑤ ⑭	⑤文化振興 ⑩会議室等の提供 ⑭学習機会の提供
② 学校教育 (小学校)	③ ⑨ ⑪ ⑯	③	⑯	③ ⑯	—	③	③学校教育(中学校) ⑯災害対応(備品備蓄・地域開放)
③ 学校教育 (中学校)	② ⑨ ⑪ ⑯	②	—	② ⑯	—	②	②学校教育(小学校)
④ 行政事務	—	—	—	—	—	—	該当なし
⑤ 文化振興	① ⑩ ⑭	① ⑩ ⑭	① ⑩ ⑭	①	⑫ ⑬	① ⑭	①図書の貸出 ⑩会議室等の提供 ⑭学習機会の提供
⑥ 屋内運動場	⑦ ⑧	⑦ ⑧	⑦ ⑧	⑦ ⑧	⑦ ⑧	⑦	⑦屋外運動場 ⑧プール
⑦ 屋外運動場	⑥ ⑧	⑥ ⑧	⑥ ⑧	⑥ ⑧	⑥ ⑧	⑥	⑥屋内運動場 ⑧プール
⑧ プール	⑥ ⑦	⑥ ⑦	⑥ ⑦	⑥ ⑦	⑥ ⑦	—	⑥屋内運動場 ⑦屋外運動場
⑨ 保育園・児童館	② ③ ⑪ ⑯	—	—	—	—	—	該当なし
⑩ 会議室等の 提供	① ⑤ ⑭	① ⑤ ⑭	① ⑤ ⑭	⑭	① ⑭	⑪	①図書の貸出 ⑤文化振興 ⑭学習機会の提供
⑪ 多目的利用の 場の提供	② ③ ⑨ ⑯	—	—	—	⑯	⑩	該当なし
⑫ 観光施設	⑬	⑬	—	—	⑤ ⑬	—	⑬産業振興施設
⑬ 産業振興施設	⑫	⑫	—	—	⑤ ⑫	—	⑫観光施設
⑭ 学習機会の 提供	① ⑤ ⑩	① ⑤ ⑩	① ⑤ ⑩	⑩	① ⑩	① ⑤	①図書の貸出 ⑤文化振興 ⑩会議室等の提供
⑮ 総合病院	—	—	—	—	—	—	該当なし
⑯ 災害対応 (備品備蓄・地域開放)	② ③ ⑨ ⑪	—	②	② ③	⑪	—	②学校教育(小学校)

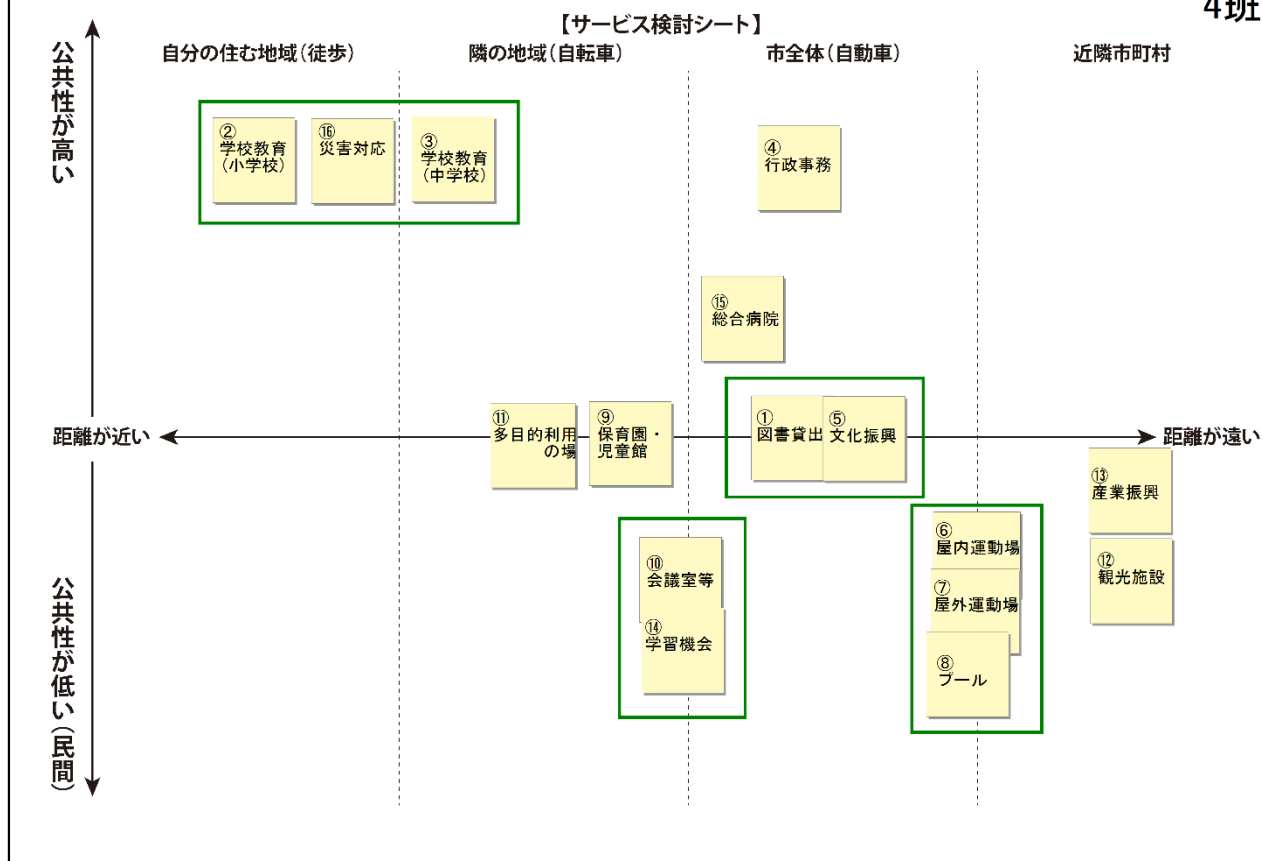
表 各班のサービスの提供場所、行政の関わり方、組み合わせの結果



3班

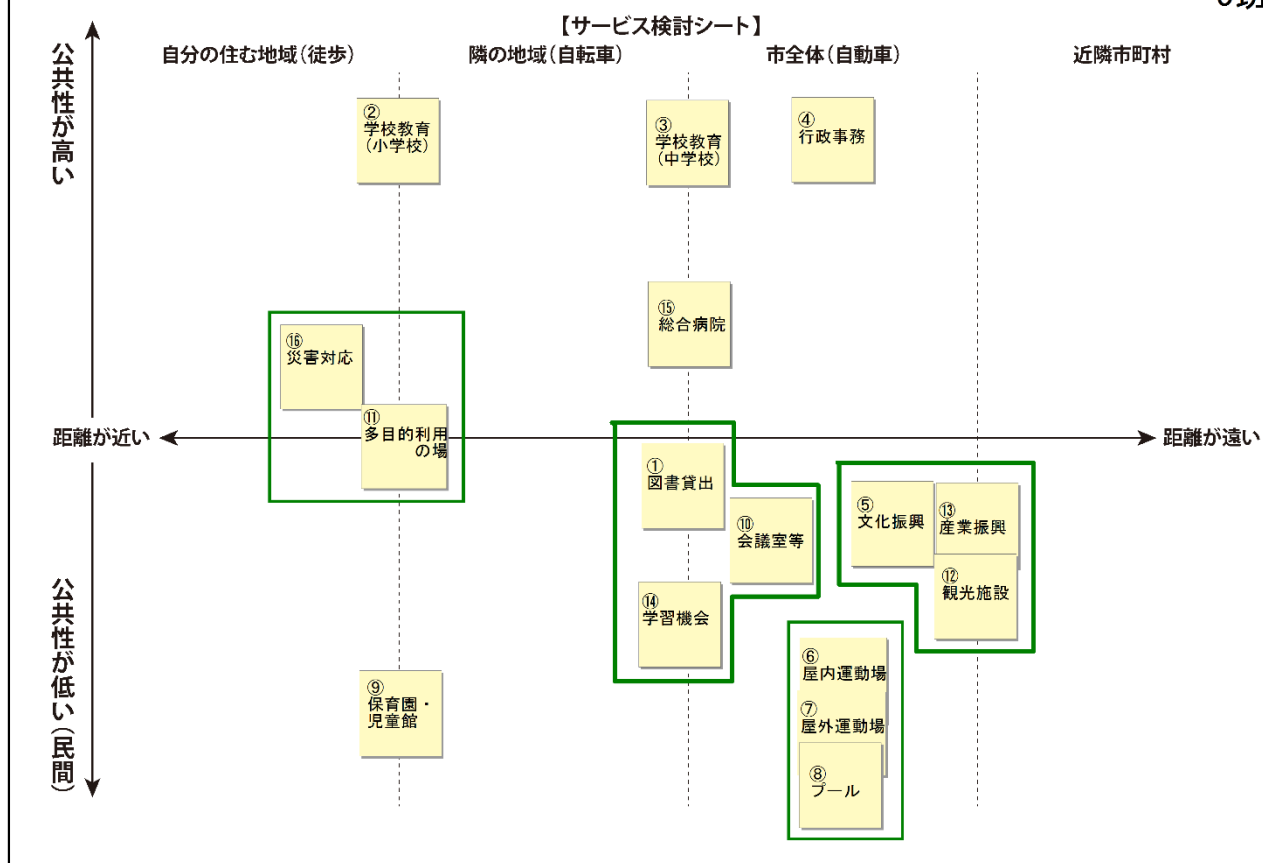


4班



凡例 : 組み合わせた方がよいサービス

5班



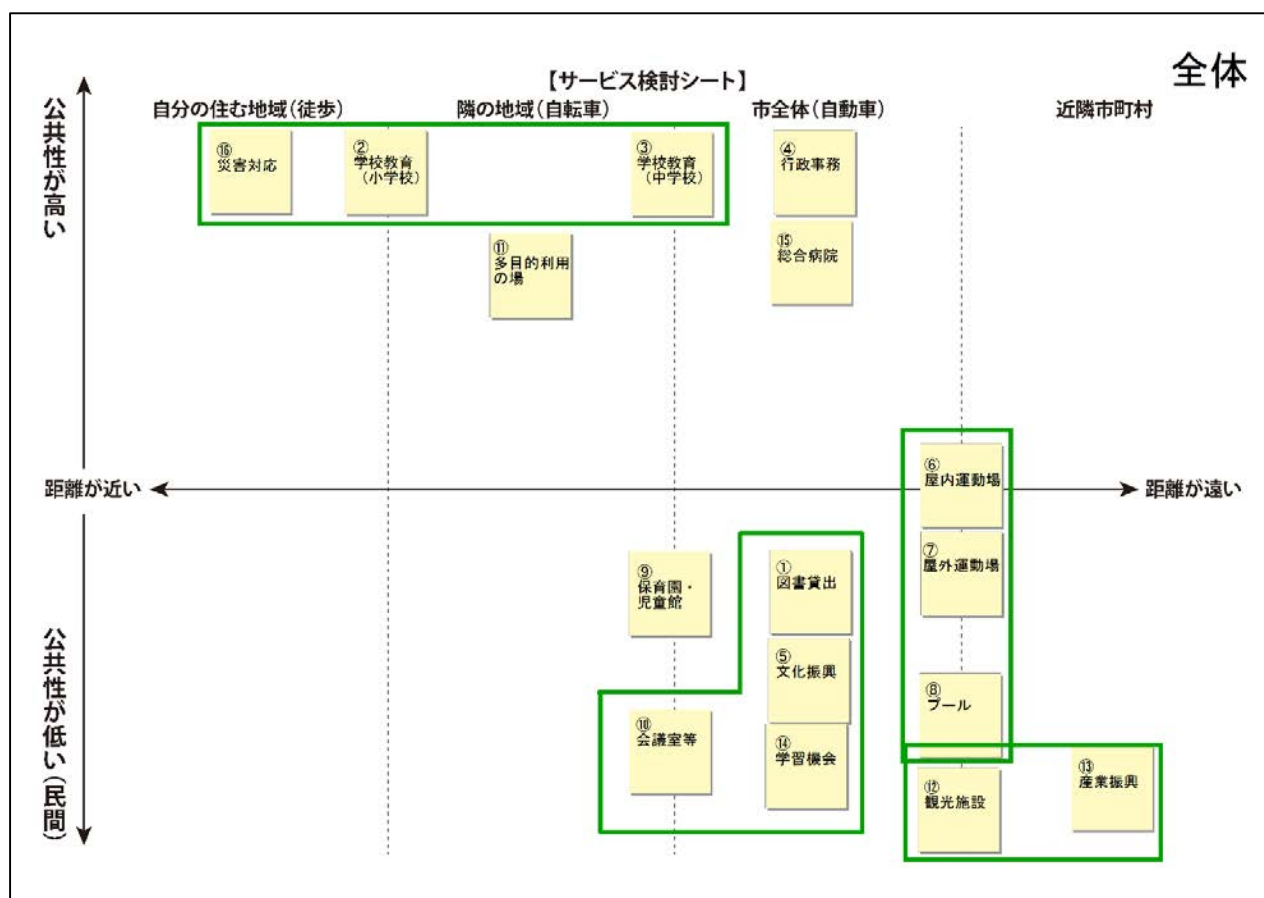
④ 結果まとめ

サービスのあり方について、提供場所や、行政の関わり方、組み合わせの3つの視点から検討いただいた内容をサービスごとにまとめると、下記のとおりになります。

表 サービスごとの整理

サービス	提供場所の圏域	行政の関わり方 (多かった意見)	組み合わせの意見があったサービス (○:過半数の班で出た意見)
① 図書の貸出	自転車圏～自動車・バス圏	民間	○文化振興 ○会議室等の提供 ○学習機会の提供
② 学校教育 (小学校)	徒歩圏～自転車圏	行政	○学校教育(中学校) ・保育園・児童館 ・多目的利用の場の提供 ○災害対応(備品備蓄・地域開放)
③ 学校教育 (中学校)	自転車圏～自動車・バス圏	行政	○学校教育(小学校) ・保育園・児童館 ・多目的利用の場の提供 ・災害対応(備品備蓄・地域開放)
④ 行政事務	自動車・バス圏	行政	該当なし
⑤ 文化振興	自動車・バス圏	民間	○図書の貸出 ○会議室等の提供 ・観光施設 ・産業振興施設 ○学習機会の提供
⑥ 屋内運動場	自動車・バス圏～近隣市町村	行政・民間	○屋外運動場 ○プール
⑦ 屋外運動場	自動車・バス圏～近隣市町村	民間	○屋内運動場 ○プール
⑧ プール	自動車・バス圏～近隣市町村	民間	○屋内運動場 ○屋外運動場
⑨ 保育園・児童館	自転車圏～自動車・バス圏	民間	・学校教育(小学校) ・学校教育(中学校) ・多目的利用の場の提供 ・災害対応(備品備蓄・地域開放)
⑩ 会議室等の 提供	自転車圏～自動車・バス圏	民間	○図書の貸出 ○文化振興 ・多目的利用の場の提供 ○学習機会の提供
⑪ 多目的利用の 場の提供	徒歩圏～自転車圏	行政	・学校教育(小学校) ・学校教育(中学校) ・保育園・児童館 ・会議室等の提供 ・災害対応(備品備蓄・地域開放)
⑫ 観光施設	自動車・バス圏～近隣市町村	民間	・文化振興 ○産業振興施設
⑬ 産業振興施設	近隣市町村	民間	・文化振興 ○観光施設
⑭ 学習機会の 提供	自動車・バス圏	民間	○図書の貸出 ○文化振興 ○会議室等の提供
⑮ 総合病院	自動車・バス圏	行政	該当なし
⑯ 災害対応 (備品備蓄・地域開放)	徒歩圏	行政	○学校教育(小学校) ・学校教育(中学校) ・保育園・児童館 ・多目的利用の場の提供

表 参加者の意見集約資料のイメージ



凡例 : 組み合わせた方がよいサービス

⑤ その他

今回のワークショップで出た貴重なご意見を、以下にまとめました。

表 各班のその他の意見

各班のその他の意見	
1班	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の充実が前提である ・行政と教育以外は、民間でよいのではないか ・市で建てて、民間で運営
2班	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校は将来的なことを考えてまとめていく（今も部活のクラブも作れない状況がある） ・全体として民間の可能性に期待する
3班	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的利用の場の提供は、児童館と複合化するという意見も出たが、サービスの種類の違いで結果として分かれた ・災害対応は、体育館もある学校と一緒にすべき ・少子化などを考えると、意見が多様化してしまい、途端にまとまらなくなった
4班	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の貸出は、ナセBAもあるので、文化振興と一緒にでもよい ・公設民営してもよい施設が横軸上にある ・運動場などは民間で施設を作れば、市の負担を軽減できるのでは
5班	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場やプールは、総合公園にすべて移設するのはどうか ・病院は大きいものを一つにして、サテライト的に民間を活用してよいのではないか
6班	<ul style="list-style-type: none"> ・条件が整えば、公設民営などで、完全にどちらかとしなくても可能

第1回公共施設ワークショップの様子



2.2. 第2回ワークショップ

(1) 第2回ワークショップの内容

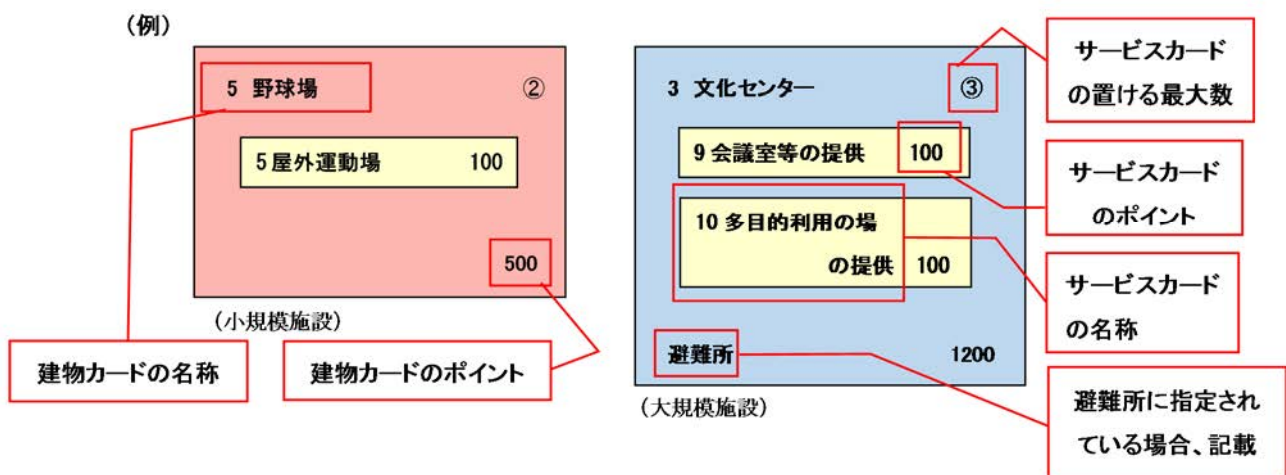
第2回では『施設再編シミュレーションゲーム』を実施しました。このゲームでは、参加者の皆さんが「20年後の米沢市民」となり、必要なサービスの水準を維持しながら、コストを軽減することを目標に、公共施設の再編に取り組んでいただきました。

(2) 第2回公共施設ワークショップの実施手法

1) 建物カードとサービスカードについて

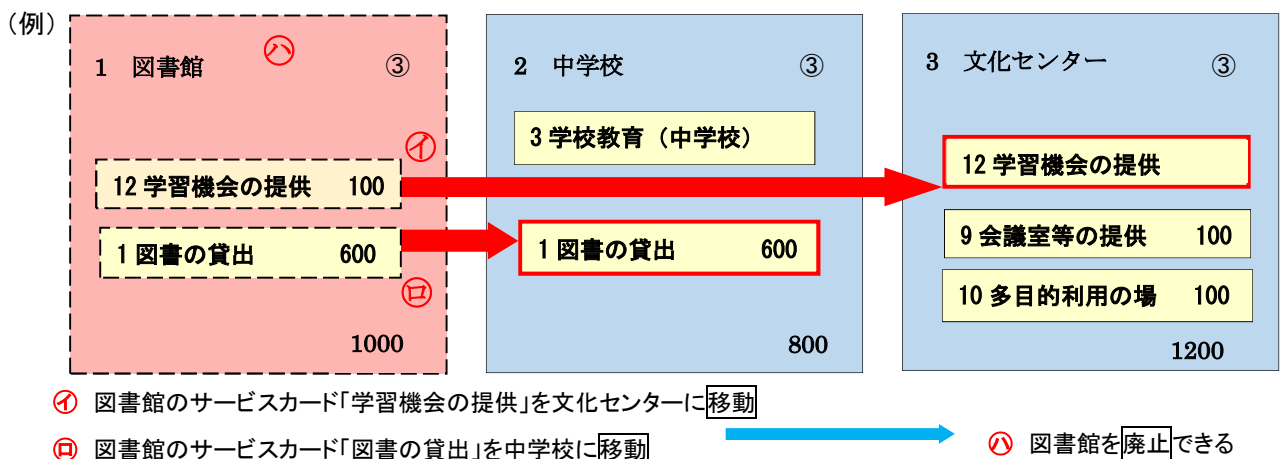
- ・公共施設は、**建物カード（赤・青）**と**サービスカード（黄）**のセットで成立しています。
- ・建物カードは建物の大きさによって（大・小2種類）があり、建築年数（新・古2種類）に応じて、全部で4種類あります。

（※赤い建物カードを築30年以上の古い施設、青い建物カードを築30年未満の新しい施設とします。）



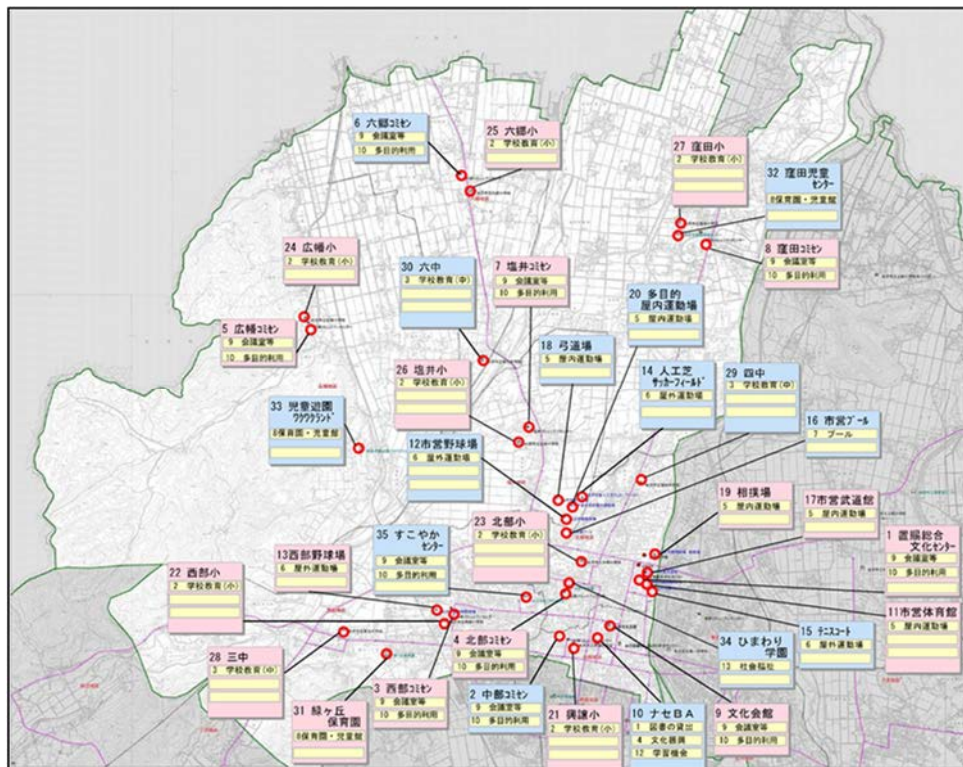
2) 基本的なカードの動かし方（※実際に作業をするときは地図上で行いました。）

- ・サービスカードは、廃止（取り除くこと）や移動（他の建物カードへ移すこと）ができます。
- ・サービスカードは、建物カード右上に書かれたサービスカードの置ける最大数以上は載せることができません。
- ・建物カードの上にサービスカードがなくなったら、建物を廃止することができます（建物カードを地図上から取る）。
- ・建物カードは、地図上の他の場所へ移動することはできません。

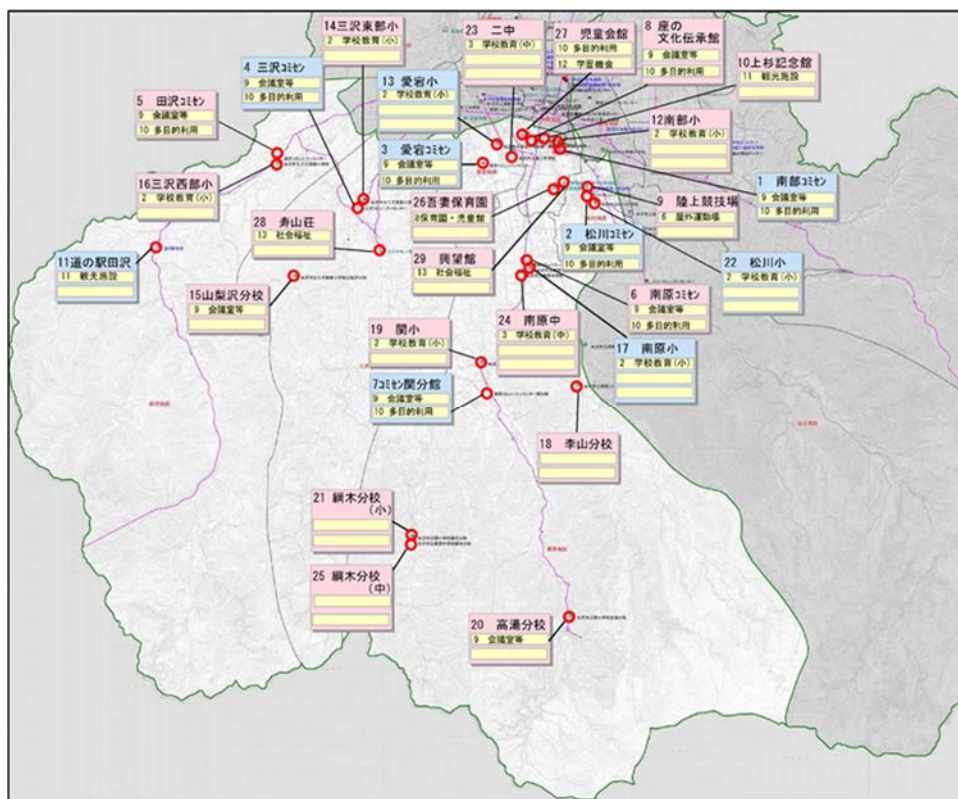


3) 検討シート

検討エリア 1(中部・西部・北部・広幡・六郷・塩井・窪田地区)



検討エリア 2(松川・南部・愛宕・三沢・田沢・南原地区)



※シミュレーションは市内を3つのブロックに分け、うち2つのエリアを検討しました。

◎ 対象とした施設は以下のとおりです。

検討エリア 1（中部・西部・北部・広幡・六郷・塩井・窪田地区）

No.	施設名	No.	施設名	No.	施設名
1	置賜総合文化センター	13	西部野球場	25	六郷小学校
2	中部コミュニティセンター	14	人工芝サッカーフィールド	26	塩井小学校
3	西部コミュニティセンター	15	北村公園テニスコート	27	窪田小学校
4	北部コミュニティセンター	16	市営プール	28	第三中学校
5	広幡コミュニティセンター	17	市営武道館	29	第四中学校
6	六郷コミュニティセンター	18	弓道場	30	第六中学校
7	塩井コミュニティセンター	19	相撲場	31	緑ヶ丘保育園
8	窪田コミュニティセンター	20	多目的屋内運動場	32	窪田児童センター
9	市民文化会館	21	興譲小学校	33	成島児童遊園(ワクワランド)
10	ナセ BA	22	西部小学校	34	ひまわり学園
11	市営体育館	23	北部小学校	35	すこやかセンター
12	市営野球場	24	広幡小学校		

検討エリア 2（松川・南部・愛宕・三沢・田沢・南原地区）

No.	施設名	No.	施設名
1	南部コミュニティセンター	16	三沢西部小学校
2	松川コミュニティセンター	17	南原小学校
3	愛宕コミュニティセンター	18	南原小学校李山分校(休校中)
4	三沢コミュニティセンター	19	関小学校
5	田沢コミュニティセンター	20	関小学校高湯分校(休校中)
6	南原コミュニティセンター	21	関小学校綱木分校(休校中)
7	南原コミュニティセンター 関分館	22	松川小学校
8	座の文化伝承館	23	第二中学校
9	陸上競技場	24	南原中学校
10	上杉記念館	25	南原中学校綱木分校(休校中)
11	道の駅(田沢)	26	吾妻保育園
12	南部小学校	27	児童会館
13	愛宕小学校	28	老人福祉センター寿山荘
14	三沢東部小学校	29	興望館
15	三沢東部小学校山梨沢分校(休校中)		

(3) 第2回公共施設ワークショップ参加者の主な意見

以下にまとめた意見は、ワークショップ参加者が客観的な視点で自由に意見交換した内容を、取りまとめたものなので、詳細な事業検討を行ったものではありません。

① 検討エリア1(中部・西部・北部・広幡・六郷・塩井・窪田地区)

	1 班		2 班		3 班	
コンセプト	高齢者にやさしいまちづくり		選択と集中		みんなが元気で活躍できるまちづくり	
再編の考え方	公共交通網の整備で高齢化社会に 適応したサービス機能の集約		・人口年代、分野もふまえて利用しやすい方法を検討 ・一極集中すべきもの、分散すべきものを検討 ・新しい施設に機能を統合		・無駄な施設をなくす。 ・小さな負担、サービス充実。 ・民間の力を活かす。	
削減した施設	8	窪田コミュニティセンター	3	西部コミュニティセンター	1	置賜総合文化センター
	13	西部野球場	7	塩井コミュニティセンター	8	窪田コミュニティセンター
	19	相撲場	8	窪田コミュニティセンター	9	市民文化会館
	21	興譲小学校	13	西部野球場	13	西部野球場
	23	北部小学校	15	北村公園テニスコート	17	市営武道館
	24	広幡小学校	16	市営プール	19	相撲場
	25	六郷小学校	17	市営武道館	24	広幡小学校
	26	塩井小学校	19	相撲場	25	六郷小学校
	31	緑ヶ丘保育園	21	興譲小学校	31	緑ヶ丘保育園
	34	ひまわり学園	23	北部小学校	34	ひまわり学園
			24	広幡小学校		
			25	六郷小学校		
			28	第三中学校		
			31	緑ヶ丘保育園		
			32	窪田児童センター		
			34	ひまわり学園		
削減したサービス	2	学校教育(小)	2	学校教育(小)	6	屋外運動場
	5	屋内運動場	5	屋内運動場	8	保育園・児童館
	8	保育園・児童館	6	屋外運動場	8	保育園・児童館
	8	保育園・児童館	7	プール	9	会議室等
			8	保育園・児童館	9	会議室等
			8	保育園・児童館	10	多目的利用の場
			9	会議室等	10	多目的利用の場
					13	社会福祉

	1 班	2 班	3 班
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の設備を現状のまま維持する前提で再編を考えた ・比較的新しい施設を有効利用する ・避難所は最低でも各地区に一つずつ残す ・相撲場を小学校に移動できる ・子どもも減ると考え小学校を中学校に統合する ・保育園や児童センターは民間を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすいという視点や費用対効果の視点などから議論した ・西部コミセンなどは機能の集約で削減 ・西部野球場の安全面を懸念 ・市営プールは冬場の利用者が少ない ・相撲場や市営武道館、テニスコート、ひまわり学園は利用者が少ないことや小学校でも提供できるため削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘保育園・ひまわり学園は民営化していく ・窪田コミセンは老朽化により市内の吾妻児童センターで代替をしていく ・相撲場や文化センターも老朽化により廃止していく ・市営球場は一カ所でよい ・市営武道館は弓道場と統合できる ・南陽市の文化会館を利用することで文化会館は廃止が可能
講評	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトに議論の時間をかけていた ・高齢者にやさしいというコンセプトにあった再編がなされている ・公共交通網という視点が特徴的 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の削減が大きく進んでいる一方で、サービスの削減は少ない ・非常に合理的に削減が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を個別によく検討されていた ・他の市町村の施設を利用するという具体的な意見も見られた

② 中間結果まとめ（検討エリア 1）

▼ 削減した施設（全体 19 施設 班平均約 6 施設）

コミュニティセンターや小中学校、体育施設などが挙げられており、さらに 1～3 班のすべての班で削減すべきとされた施設は、窪田コミュニティセンター、西部野球場、相撲場、広幡小学校、六郷小学校、緑ヶ丘保育園、ひまわり学園の 7 施設でした。

▼ 削減したサービス（全体 8 種類）

民間でも可能と思われる体育施設や保育園、会議室などが挙げられており、さらに 1～3 班のすべての班で削減すべきとされたサービスは、保育園・児童館でした。

③ 中間発表の概要 検討エリア 2(松川・南部・愛宕・三沢・田沢・南原地区)

	4 班		5 班		6 班	
コンセプト	若い世代が住みやすい町づくり(仮)		教育改革によるまちの活性化		質実剛健のまち Yonezawa	
再編の考え方	1.利便性や利用目的を考えた施設の配置 2.民間でできるものは民間へ・広域でできるものは広域で 3.目的やサービスが同じような施設を集約		・小規模校を統合し、まちなかに再編する ・学校と居住するところはスクールバスを利用する(民間委託) ・小中一貫校のモデルケースを南原につくる		機能性を高める	
削減した施設	5	田沢コミュニティセンター	8	座の文化伝承館	1	南部コミュニティセンター
	6	南原コミュニティセンター	9	陸上競技場	2	松川コミュニティセンター
	8	座の文化伝承館	10	上杉記念館	3	愛宕コミュニティセンター
	15	三沢東部小学校 山梨沢分校(休校中)	11	道の駅(田沢)	4	三沢コミュニティセンター
	18	南原小学校李山分校 (休校中)	14	三沢東部小学校	5	田沢コミュニティセンター
	19	関小学校	15	三沢東部小学校 山梨沢分校(休校中)	6	南原コミュニティセンター
	20	関小学校高湯分校(休校中)	16	三沢西部小学校	7	南原コミュニティセンター 関分館
	21	関小学校綱木分校(休校中)	17	南原小学校	15	三沢東部小学校 山梨沢分校(休校中)
	24	南原中学校	18	南原小学校李山分校 (休校中)	21	関小学校綱木分校(休校中)
	25	南原中学校綱木分校 (休校中)	19	関小学校	24	南原中学校
	28	老人福祉センター寿山荘	20	関小学校高湯分校(休校中)	25	南原中学校綱木分校 (休校中)
			21	関小学校綱木分校(休校中)		
			25	南原中学校綱木分校 (休校中)		
			26	吾妻保育園		
			27	児童会館		
			28	老人福祉センター寿山荘		

	4 班		5 班		6 班	
削減したサービス	2	学校教育(小)	2	学校教育(小)	9	会議室等
	9	会議室等	2	学校教育(小)		
	9	会議室等	6	屋外運動場		
	10	多目的利用の場	8	保育園・児童館		
	10	多目的利用の場	9	会議室等		
	13	社会福祉	9	会議室等		
			9	会議室等		
			10	多目的利用の場		
			10	多目的利用の場		
			11	観光施設		
			11	観光施設		
			12	学習機会		
			13	社会福祉		
主な意見	・利便性を重視した ・民間でできるものは民間を活用する ・目的やサービスが同じようなものは集約する ・分校は人口減少を見越してすべて廃止する方針 ・小学校にコミセンの機能を複合化する ・中学校は中学校で統合するのが現実的かと考えた ・小学校は地域に根ざしたものに する		・小規模校を統合し、まちなかに機能を移していく ・居住地はそのままにしたい ・コミセンを待合所にして、民間のスクールバスを活用する ・地域はそのまま残したいので、コミセンは廃止しない ・南原中に小中一貫校などの「子供をこの学校に通わせたい」と思えるような特色・魅力のある学校をつくり、人口増を目指す ・町がにぎやかでないと米沢は発展しない		・見栄えよりも中身を重視した ・サービスはほぼ減らさず機能は残して、建物のみを減らした ・コミセンと分校はすべて廃止 ・コミセンは減らしても、コミセンのサービスを小学校に移すことで地域を守っていける ・機能性を維持する	
講評	・町の中心に施設が集まっているという印象を持つ ・コンセプトがしっかりしており、それに基づいて再編がなされている		・統廃合だけでなく、小中一貫校のモデルケースをつくり、そこに人を集めようという考えが面白いところ		・青色の施設を思い切って削減しているところがコンセプトの質実剛健であり特徴的	

④ 中間結果まとめ（検討エリア 2）

▼ 削減した施設（全体 24 施設 平均約 8 施設）

コミュニティセンターや小中学校、座の文化伝承館などが挙げられており、さらに 4～6 班のすべての班で削減すべきとされた施設は、三沢東部小学校山梨沢分校、関小学校綱木分校、南原中学校綱木分校の 3 施設でした。

▼ 削減したサービス（全体 8 種類）

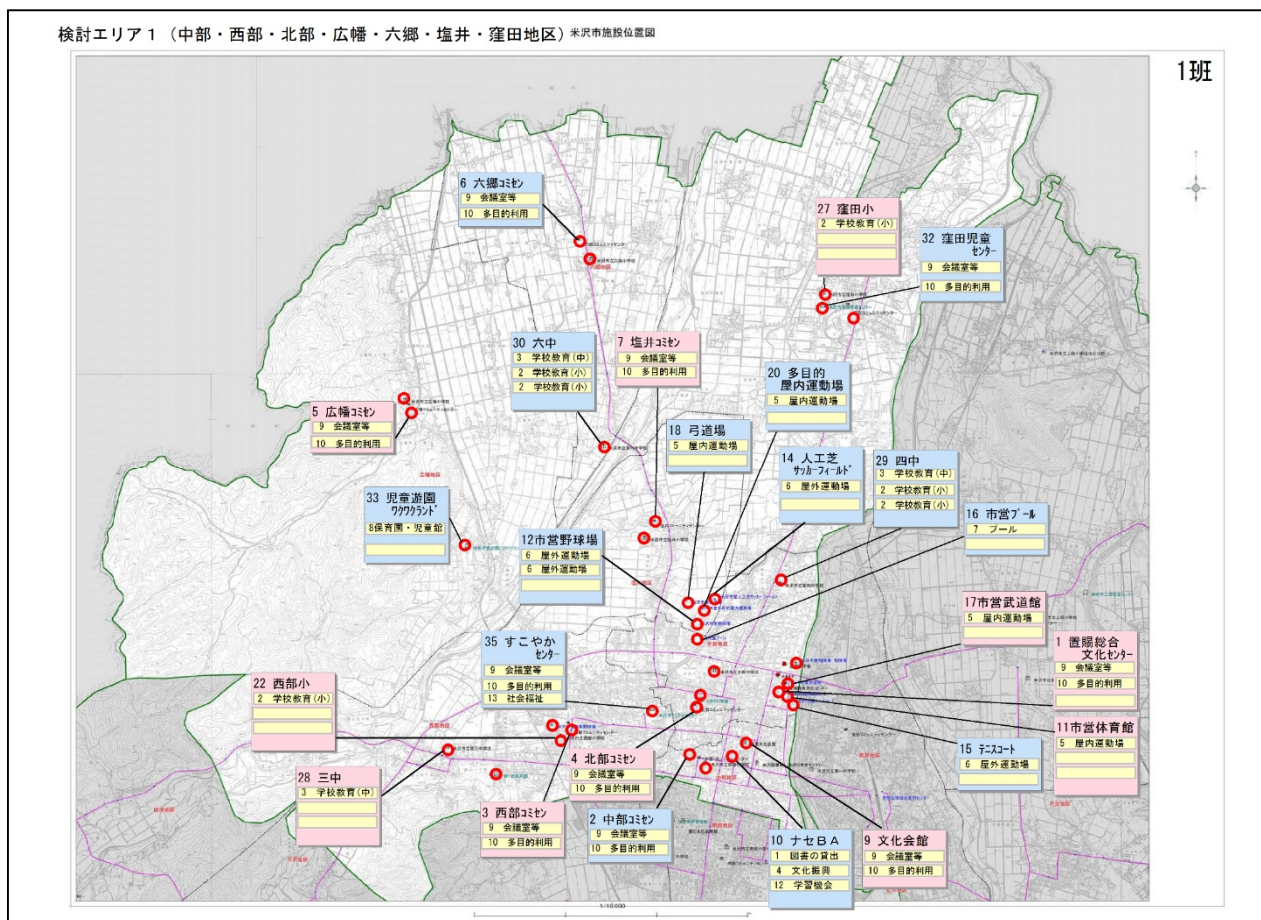
民間でも可能と思われるサービスの観光施設のほか、小学校やコミュニティセンターにある多目的利用の場が挙げられており、さらに 4～6 班のすべての班で削減すべきとされたサービスは、会議室等の提供でした。

いずれの検討エリアも施設の削減数が多いですが、サービスの全てをエリアから削減するケースが少ないことから、複数ある施設やサービスについて、統合や集約を行うという結果になりました。

第 2 回ワークショップの様子



表 各班の再編シミュレーションの中間結果

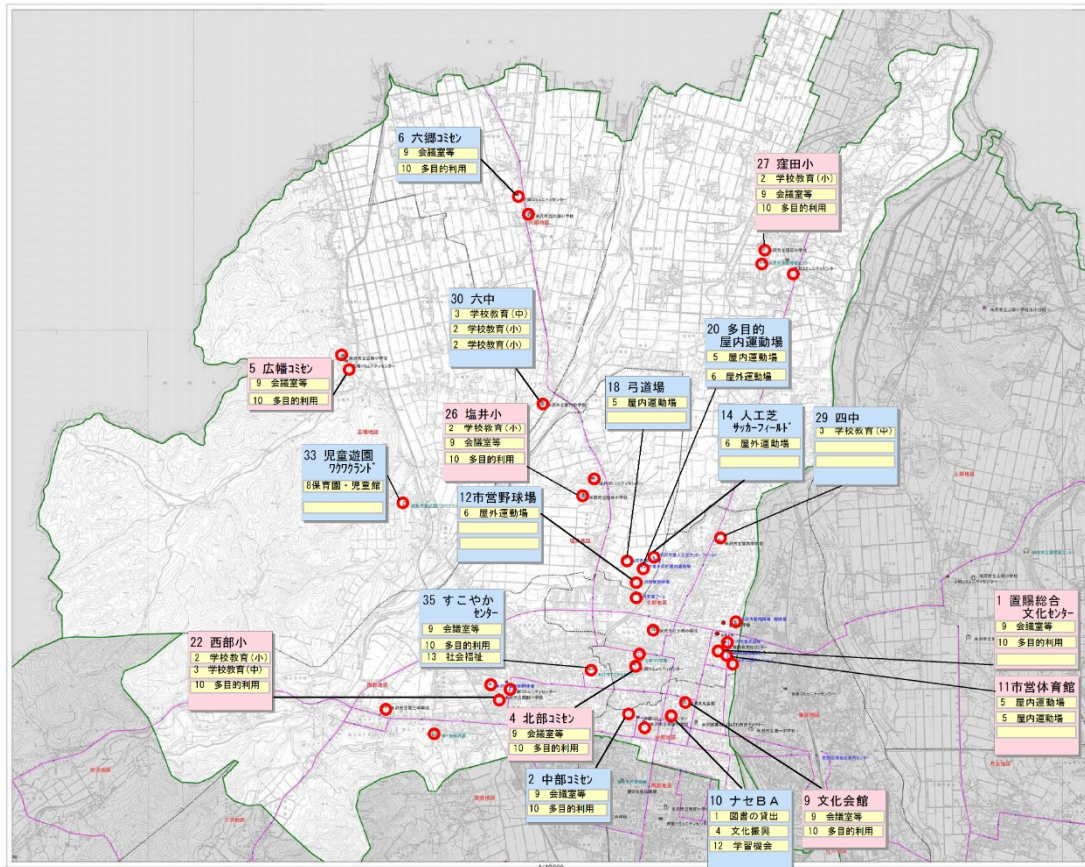


1 班 コンセプト『 高齢者等にやさしいまちづくり 』

再編の考え方

公共交通網の整備で高齢化社会に対応したサービス機能の集約

	削 減						理 由・考え方
	建 物		サ ー ビ ス				
	カード	理 由	カード	理 由			
カード 理 由	19相撲場	上郷小へ	8保育園児童館	民営化 (児童センター)			
	23北部小	四中へ統合					
	13西部野球場	市営球場へ	2学校教育小	南部小へ (興譲小)			
	25六郷小	六郷中へ統合					
	24広幡小		8保育園児童館	民間へ (緑ヶ丘保)			
	8 窪田コミセン	児童センター 業務移管					
	34ひまわり学園	すこやかセンター へ統合	5屋内運動場	上郷小へ (相撲場)			
	21興譲小	南部小へ統合					
	31緑ヶ丘保育園	民間へ					
	26塩井小	四中へ統合					
ポイント	2, 5 0 0		1, 2 0 0				
合計							2, 7 0 0



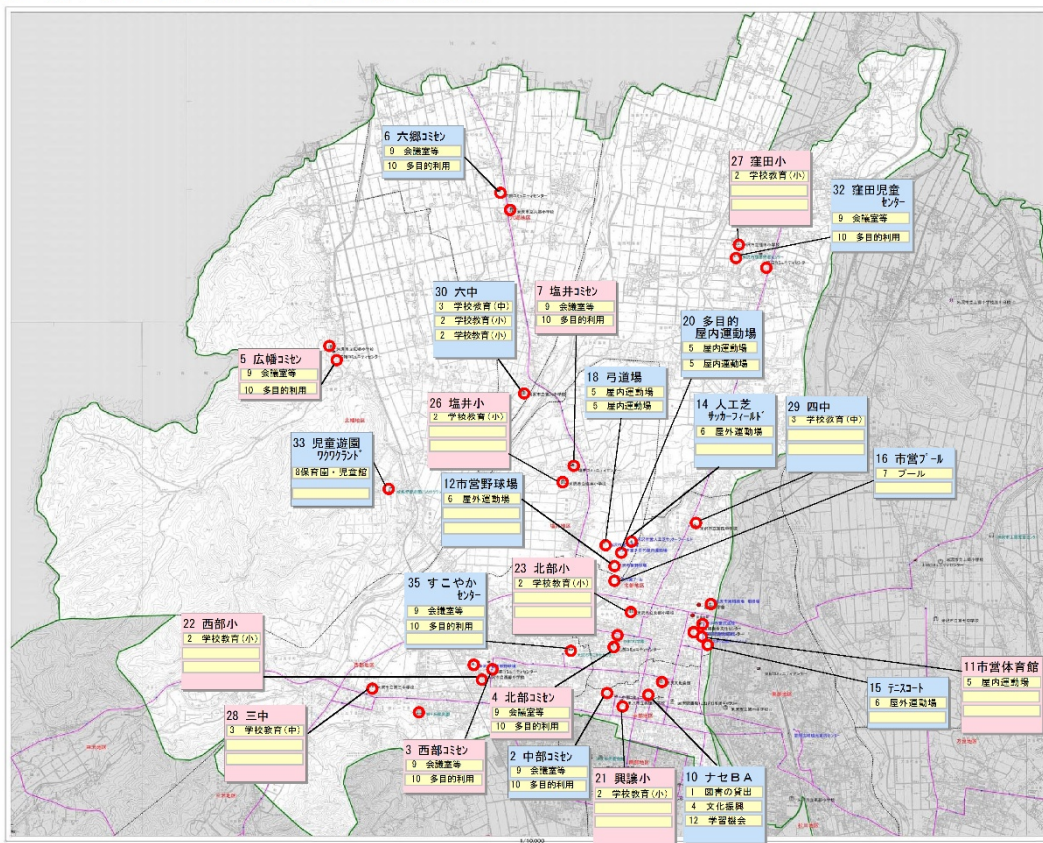
2 班 コンセプト『 選択と集中 』

再編の考え方

- ・人口年代、分野をふまえ利用しやすい方法を検討
- ・一極集中すべきもの、分散すべきものを検討
- ・営利性、費用対効果の視点
- ・新しい施設に機能を統合

		削 減				理 由・考 え 方
		建 物	サー ビ ス			
		カ ー ド	理 由	カ ー ド	理 由	
24広幡小	カ ー ド 理 由	3 西部コミセン	機能集約	9 会議室等		
25六郷小		7 塩井コミセン				
28三中		8 窪田コミセン				
32児童センター		23北部小				
		13西部野球場	皆川球場で代替 安全面の懸念 野球人口の減少	6 屋外運動場		
		16市営プール	民営化	7 プール		
		31緑ヶ丘保育園	民営化	8保育園児童館		
		19相模場	利用人口が少ない 小学校にもある	5 屋内運動場		
		17市営武道館	市営体育館更新時 に集約			
		15テニスコート	多目的運動場付近 へ移転			
		21興譲小	他校に再編	2 学校教育小		
		34ひまわり学園	機能の集約 (すこやか センターへ)			
ポイント			3, 9 0 0	1, 1 0 0		
合計						5, 0 0 0

検討エリア1（中部・西部・北部・広幡・六郷・塩井・窪田地区）米沢市施設位置図



3班

3 班 コンセプト 『 みんなが元気で活躍できるまちづくり 』

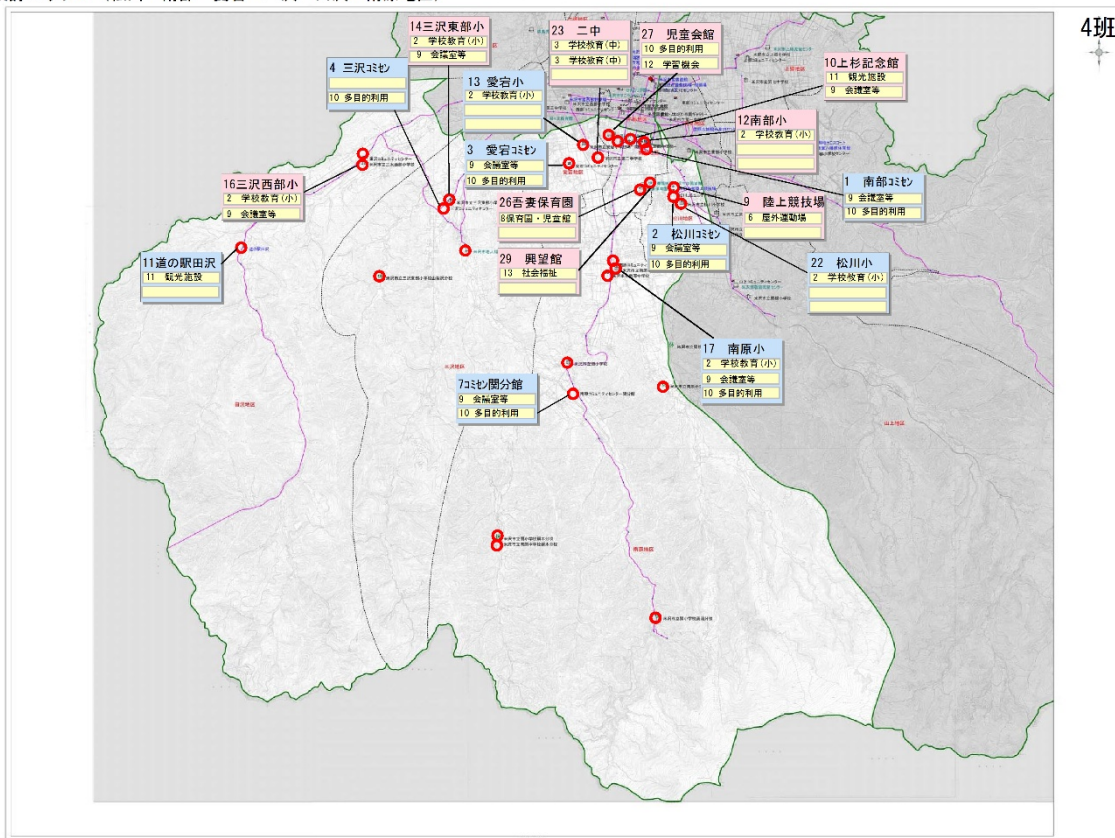
再編の考え方

- ・無駄な施設をなくす。
- ・小さな負担、サービス充実。
- ・民間の力を活かす。

	削 減						理 由・考 え 方
	建 物		サ ー ビ ス				
	カ ー ド	理 由	カ ー ド	理 由			
カ ー ド 理 由	34ひまわり学園	民営化 (払い下げ?)	8 保育園児童館	民営化			
	31緑ヶ丘保育園		8 保育園児童館				
	8 窪田コミセン		13社会福祉				
	19相撲場	老朽化により 児童センターを 代替利用	6 屋外運動場	屋内運動場と 統廃合			
	13西部野球場						
	1 文化センター	老朽化のため 他施設と統合		他の施設のサー ビス利用			
	24広幡小	小中統合	10多目的利用の場	他の施設のサー ビス利用			
	25六郷小		9 会議室等				
		10多目的利用の場					
9 市民文化会館	武道館と弓道場 統合、他市と共 同利用	9 会議室等					
17市営武道館							
ポイント							
合計							

検討エリア2（松川・南部・愛宕・三沢・田沢・南原地区）

米沢市施設位置図



4班

4 班 コンセプト 『 若い世代が住みやすい町づくり（仮） 』

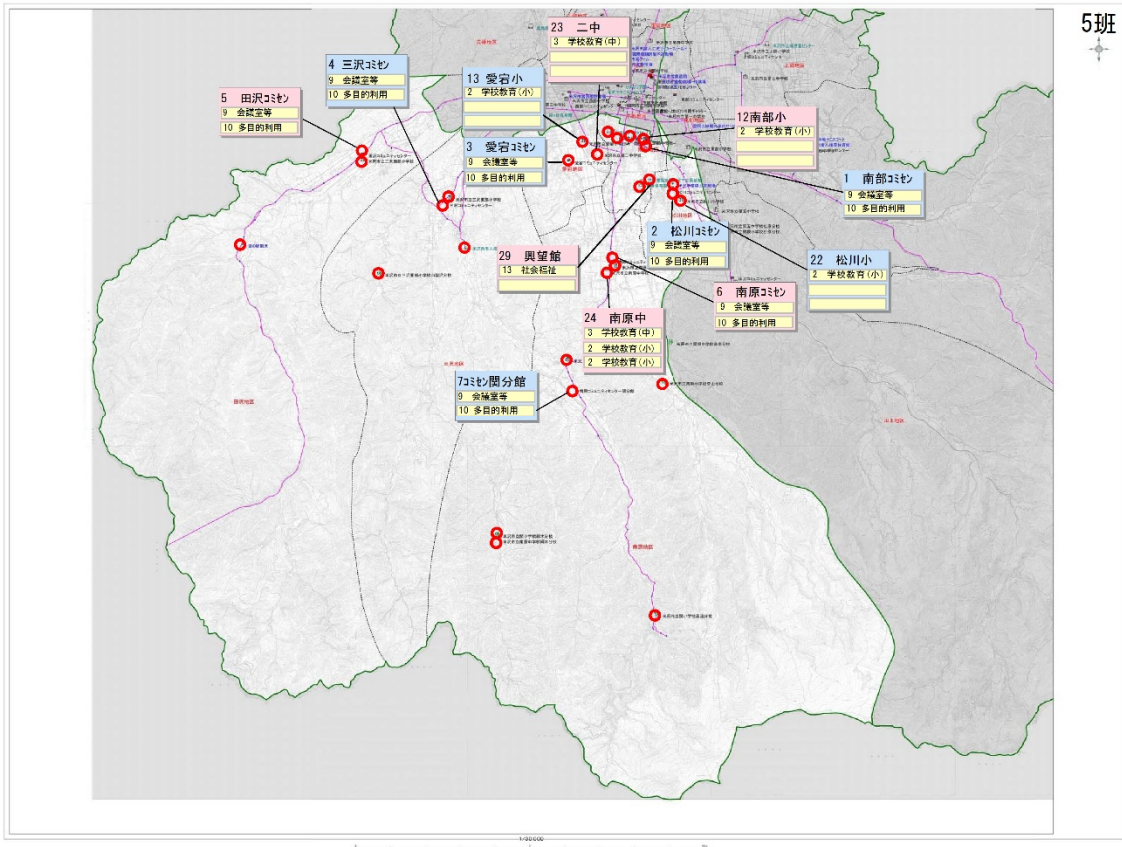
再編の考え方

1. 利便性や利用目的を考えた施設の配置
2. 民間でできるものは民間へ・広域でできるものは広域で
3. 目的やサービスが同じような施設を集約

		削 減						理 由・考 え 方
		建 物		サ ー ビ ス				
		カ ー ド	理 由	カ ー ド	理 由			
カ ー ド 理 由	18李山分校	住民がいなくなる		9会議室等	他の施設で代替			
	15山梨沢分校							
	20高湯分校							
	21綱木分校(小)							
	25綱木分校(中)			9会議室等	他の施設で代替			
	6南原コミセン	10多目的利用の場						
		5田沢コミセン						
	24南原中	二中に統合						
	28寿山荘	民間温泉施設を利用	13社会福祉	民間サービス提供				
	19関小	子供がいなくなる、南原小に統合	2 学校教育(小)	南原小に移行				
8座の文化伝承館	10多目的利用の場							
ポイント								
合計								

検討エリア2（松川・南部・愛宕・三沢・田沢・南原地区）

米沢市施設位置図

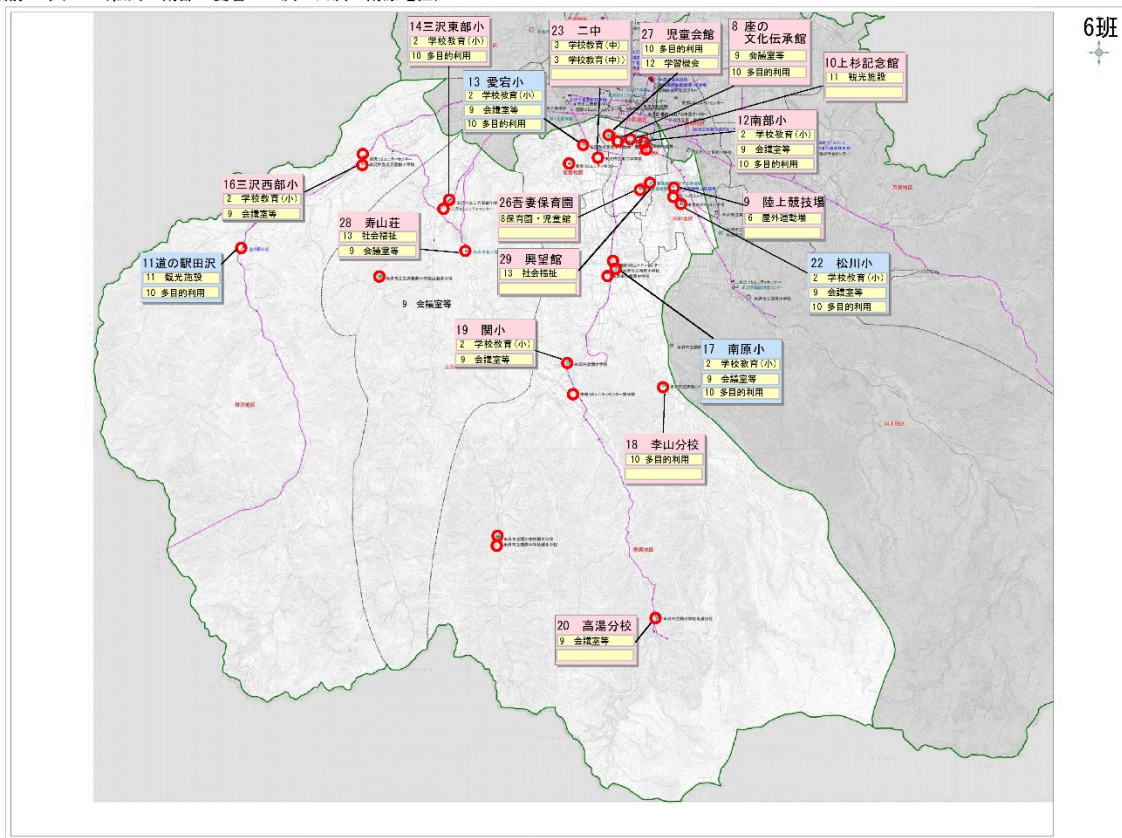


5 班 コンセプト 『 教育改革によるまちの活性化 』

再編の考え方

- ・小規模校を統合し、まちなかに再編する
- ・学校と居住するところはスクールバスを利用する（民間委託）
- ・小中一貫校のモデルケースを南原につくる

		削 減						理 由・考 え 方		
		建 物		サー ビ ス						
		カ ー ド	理 由	カ ー ド	理 由					
15 山梨沢分校	18 李山分校	廃校	9 会議室等	児童・生徒がいない						
20 高湯分校	21 綱木分校(小)		9 会議室等							
	25 綱木分校(中)									
カ ー ド 理 由	14 三沢東部小	西部小へ統合	2 学校教育(小)	小規模校のため						
	16 三沢西部小		2 学校教育(小)							
	17 南原小	南原中へ小中一貫校（特色をだす）		統合して小中一貫校						
	19 関小		6 屋外運動場							
8座の文化伝承館	9 陸上競技場	民間へ	8保育園児童館	民間へ						
			9 会議室等							
10 上杉記念館	11 道の駅田沢		10多目的利用の場	10多目的利用の場						
26 吾妻保育園	27 児童会館		11観光施設							
28 寿山荘			12 学習機会					11観光施設		
			13 社会福祉							
ポイント	3, 5 0 0		2, 2 0 0							
合計	5, 7 0 0									



6 班 コンセプト『 質実剛健のまち Yonezawa 』

再編の考え方

機能性を高める

	削 減						理由・考え方
	建 物		サービス				
	カード	理 由	カード	理 由			
カード 理 由	5 田沢コミセン	小学校は地区の行事もできる。 (かふる) コミセン統合	9 会議室等				
	6 南原コミセン						
	1 南部コミセン						
	2 松川コミセン						
	3 愛宕コミセン						
	4 三沢コミセン						
	7コミセン関分館						
	25 綱木分校(中)	分校は利用実態がない					
	21 綱木分校(小)						
	15 山梨沢分校						
	24 南原中						
ポイント	2, 1 0 0		1 0 0				
合計							

2.3. 第3回ワークショップ

(1) 第3回公共施設ワークショップの内容

第3回公共施設ワークショップでは、前回より引き続き『施設再編シミュレーションゲーム』を実施しました。第2回で検討した施設再編結果に対し、施設を削減することで十分な行政サービスの提供が行えるか、また、十分でない場合、こういった手法で補えるかや、拡充すべき行政サービスがないかについて検討しました。参加者は、行政サービス水準の維持を考えたときに、施設を廃止しすぎていないか、不足しているサービスがないかなどを確認しながら意見を取りまとめ、施設再編のコンセプトや提言などを発表しました。

(2) 第3回公共施設ワークショップの実施手法

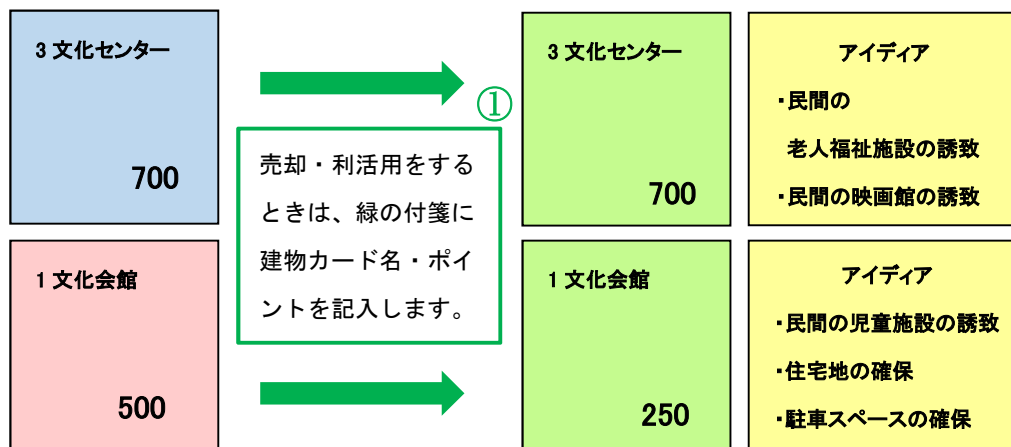
ボーナスステージについて

【 利活用・売却ステージ 】

利活用・売却カード(緑色)

- ・建物（カード）を廃止した土地は、次の条件を満たす場合に利活用もしくは売却できます。
施設を削減するということは、その土地や建物をその後に運用できる可能性があるという考えがあり、追加のポイントを設定しました。

- 利活用・売却カードは、合計で 3つまで可能
- 建物カードが青色の場合は建物の利活用が可能（ポイントは建物カードと同じ）
- 建物カードが赤色の場合は土地の売却が可能（ポイントは建物カードの半分）
- ただし、利活用・売却ができるのは、その利活用・売却した建物や土地をどう活用するとよいかのアイディアがある場合のみに限定（アイディアを付箋に記入）



【 サービス提案ステージ 】

- ・市内に不足し、より魅力あるサービスを提供したい場合、またはサービスを減らしすぎてしまった場合は、増やしたいサービスを提案することができます。(いくつでも可能)
- ・サービスを提案したときは、その追加したサービスの名称を発表資料に記入してください。

- 追加したサービスカードは原則、空きがある建物カードにのみ配置できます。
また、新たなサービスが増えると運営費用（ポイント）も増えることになります。
- 追加したサービスカードのポイントは、既存のサービスであればそのサービスカードのポイントとして、新規のサービスであれば、100 ポイントとします。
- 既存のサービス内容でも、規模を小さくするなどした場合には新規のサービスとみなしカードのポイントは 100 ポイントとします。

既存のサービスを追加する場合

4 文化振興 200

13 社会福祉 200

新サービスを追加する場合

バス運行サービス 100

図書の貸出（小規模）100

- ※ なお、例外として、バス運行サービス（スクールバスなど）に関しては、施設を統廃合した際に、必要となるサービスですが、敷地の多くを使用しなければ提供できないサービスではないため、建物カードに空きがない場合でもサービスカードを配置してよいこととします。
ただし、バス運行サービスは、1 施設に 1 枚サービスカードが必要です。

- ◎ 検討エリア及び対象とした施設は、第 2 回公共施設ワークショップにて取り組んだ内容と同じエリア・施設を使用しています。また、第 1 回から第 3 回まで、班のメンバーは変更せず同じメンバーで取り組みました。

(3) 第3回公共施設ワークショップの参加者の主な意見

以下にまとめた意見は、ワークショップ参加者が客観的な視点で自由に意見交換した内容を、取りまとめたものなので、詳細な事業検討を行ったものではありません。

① 最終発表の概要 検討エリア1(中部・西部・北部・広幡・六郷・塩井・窪田地区)

	1 班		2 班		3 班	
コンセプト	高齢者にやさしいまちづくり		選択と集中		みんなが元気で活躍できるまちづくり	
再編の考え方	公共交通網の整備で高齢化社会に適応したサービス機能の集約		<ul style="list-style-type: none"> ・人口年代、分野もふまえ利用しやすい方法を検討 ・一極集中すべきもの、分散すべきものを検討 ・新しい施設に機能を統合 		<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な施設をなくす。 ・小さな負担、サービス充実。 ・民間の力を活かす。 	
提言 上段:施設分類 下段:内容	1	集会施設	1	学校	1	コミセン
		バス運行サービスの充実		近隣の小中学校を集約させ、スクールバスを導入		地域に必ず一つは残す。避難所・集会所・生涯教育拠点
	2	学校施設	2	コミセン	2	屋内遊戯場
		広い敷地→公共施設へ転用		各地区に機能を残す		子供がのびのびと遊べる施設
	3	スポーツ施設	3	遊休施設	3	文化センター
		市民の憩いの場に転用		目的のある民間活用		民間の力を活かして、美術館など
削減した施設	8	窪田コミュニティセンター	3	西部コミュニティセンター	1	置賜総合文化センター
	13	西部野球場	7	塩井コミュニティセンター	8	窪田コミュニティセンター
	19	相撲場	8	窪田コミュニティセンター	9	市民文化会館
	21	興譲小学校	13	西部野球場	13	西部野球場
	23	北部小学校	15	北村公園テニスコート	17	市営武道館
	24	広幡小学校	17	市営武道館	19	相撲場
	25	六郷小学校	19	相撲場	24	広幡小学校
	26	塩井小学校	21	興譲小学校	25	六郷小学校
	31	緑ヶ丘保育園	23	北部小学校	31	緑ヶ丘保育園
	34	ひまわり学園	24	広幡小学校	34	ひまわり学園
			25	六郷小学校		
			28	第三中学校		
			31	緑ヶ丘保育園		
			32	窪田児童センター		
			34	ひまわり学園		

	1 班		2 班		3 班	
削減したサービス	2	学校教育(小)	2	学校教育(小)	6	屋外運動場
	5	屋内運動場	5	屋内運動場	8	保育園・児童館
	8	保育園・児童館	6	屋外運動場	8	保育園・児童館
	8	保育園・児童館	8	保育園・児童館	9	会議室等
			9	会議室等	9	会議室等
					10	多目的利用の場
					10	多目的利用の場
					13	社会福祉
利活用・売却	13	西部野球場	21	興譲小学校	1	置賜総合文化センター
	21	興譲小学校	23	北部小学校	9	市民文化会館
	23	北部小学校	28	第三中学校	34	ひまわり学園
サービス提案		バス運行サービス × 7		バス運行サービス × 3		バスサービス
削減ポイント	3,500		5,050		4,800	
各班の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利活用・売却は、施設が市内の中心にあり、面積が比較的広いという条件で行った ・西部野球場は、他の市町村のようにシンボルになる緑地公園にするとよいと考えている ・興譲小は、高齢者が利用しやすいように市の中心に、新しい市立病院を設置する ・北部小は、複合的な商業施設や学習支援センターを誘致するのはどうか ・大きな課題として、バスの運行サービスの充実が必要で、ナセ BA をターミナルにする ・統廃合は、経済的な合理性のみではなく、人のつながりも考慮に入れて欲しい 		<ul style="list-style-type: none"> ・市営プールを復活させて、学校のプールの授業に活用 ・北部小は、遊休施設の誘致はどうかボウリング場など ・興譲小は、民間の総合病院を誘致する ・三中は、学校の統合により給食をつくる施設も必要になるので、民間の給食センターを誘致する ・人数などを考えると、コミセンよりも学校のほうが避難所としての機能は高いのではないかと ・民間に買い取ってもらうためには、プールでも屋根などがついていないといけないのではないかと利用できる期間が短くなってしまう 		<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり学園は民営化していくのではないかと考える民間の社会福祉施設に活用していければよい ・文化会館は、屋内で子供たちがのびのびと遊べる場所が米沢には少ないので、民間を誘致するとよいのではないかとナセ BA の周辺には駐車スペースが少ないため、駐車スペースを設けることも大切 ・文化センターは大学生の意見として、民間の活力を活かして美術館や博物館を誘致する ・六中を小中一貫にすることから、バスサービスが必要になると考え、サービスを追加した 	
講評	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地のアイディアは、都市開発が進められていくなかで町の中心部に心の豊かさが感じられる ・世代関係なく全体を考えるなかで重要になってくる 		<ul style="list-style-type: none"> ・茨城では学校にプールがなく、市営プールを使っている ・防災のために貯水場として学校のプールはある ・フルシーズン使えるプールを作り、学校の授業で使うというアイディアは素晴らしい 		<ul style="list-style-type: none"> ・美術館や博物館は、町には重要ではないと感じる ・美術館などは地域性が良くあらわされるものであり、このようなものの考え方は大変良い 	

② 最終結果まとめ（検討エリア 1）

▼ 削減した施設（全体 18 施設 班平均約 12 施設）

コミュニティセンターや小中学校、体育施設などが挙げられておりますが、おおむね第 2 回と同じ結果になりました。

▼ 削減したサービス（全体 8 種類）

民間でも可能と思われる体育施設や保育園、会議室などが挙げられておりますが、おおむね第 2 回と同じ結果になりました。

▼ 追加したサービス（全体 1 種類）

学校の統合や各施設へ行く交通手段の利便性の向上を考慮し、どの班でもスクールバスをはじめとする「バス運行サービス」を提案しました。

▼ 各班の提言

すべての班から地区の拠点であるコミュニティセンターの機能は残すべきという提言がなされています。

また、2 つの班から統廃合するうえでは交通網の整備が必要という提言がなされています。特に、いずれも班でも学校の統廃合とスクールバスの導入はセットで検討されていました。

いずれの班でも施設の統廃合を進めており、跡地や遊休施設については緑地公園や屋内遊戯施設、美術館などを誘致することで市を活性化したいという提言がなされました。

③ 最終発表の概要 検討エリア 2（松川・南部・愛宕・三沢・田沢・南原地区）

	4 班		5 班		6 班	
コンセプト	若い世代が住みやすい町づくり		教育改革によるまちの活性化		質実剛健のまち Yonezawa	
再編の考え方	1. 利便性や利用目的を考えた施設の配置 2. 民間でできるものは民間へ・広域でできるものは広域で 3. 目的やサービスが同じような施設を集約		・小規模校を統合し、まちなかに再編する ・学校と居住するところはスクールバスを利用する（民間委託） ・小中一貫校のモデルケースを南原につくる		機能性を高める	
提言 上段:施設分類 下段:内容	1	小・中学校	1	小・中学校	1	集会施設
		少子化を見据えて、同じ機能を持つ学校を統合して今までの活動を確保する		民間に売却して私立の小・中一貫校をつくる。		コミセンサービスを小学校と統合、建物は利活用
	2	コミセン	2	文化施設等	2	学校（小中学校）
		人口減少を見据えて、学校の空き教室を有効活用する		民間に売却して結婚式場等のイベント会場として活用する。		分校の削減と南原中を売却し、産直施設や福祉施設誘致
	3	保育園	3		3	全施設
		子育てしやすい環境のため公設は残す				サービスの維持

	4 班		5 班		6 班	
削減した施設	5	田沢コミュニティセンター	8	座の文化伝承館	1	南部コミュニティセンター
	6	南原コミュニティセンター	9	陸上競技場	2	松川コミュニティセンター
	8	座の文化伝承館	10	上杉記念館	3	愛宕コミュニティセンター
	15	三沢東部小学校 山梨沢分校（休校中）	11	道の駅（田沢）	4	三沢コミュニティセンター
	18	南原小学校李山分校（休校中）	14	三沢東部小学校	5	田沢コミュニティセンター
	19	関小学校	15	三沢東部小学校 山梨沢分校（休校中）	6	南原コミュニティセンター
	20	関小学校高湯分校（休校中）	16	三沢西部小学校	7	南原コミュニティセンター 関分館
	21	関小学校綱木分校（休校中）	17	南原小学校	15	三沢東部小学校 山梨沢分校（休校中）
	24	南原中学校	18	南原小学校李山分校（休校中）	21	関小学校綱木分校（休校中）
	25	南原中学校綱木分校（休校中）	19	関小学校	24	南原中学校
	28	老人福祉センター寿山荘	20	関小学校高湯分校（休校中）	25	南原中学校綱木分校（休校中）
			21	関小学校綱木分校（休校中）		
			24	南原中学校		
			25	南原中学校綱木分校（休校中）		
削減したサービス	2	学校教育（小）	2	学校教育（小）	9	会議室等
	9	会議室等	2	学校教育（小）		
	9	会議室等	2	学校教育（小）		
	10	多目的利用の場	2	学校教育（小）		
	10	多目的利用の場	3	学校教育（中）		
	13	社会福祉	6	屋外運動場		
			8	保育園・児童館		
			9	会議室等		
			9	会議室等		
			9	会議室等		
			10	多目的利用の場		
			10	多目的利用の場		
			11	観光施設		
			11	観光施設		
			12	学習機会		
			13	社会福祉		

	4 班		5 班		6 班	
利活用・売却	19	関小学校	8	座の文化伝承館	1	南部コミュニティセンター
	24	南原中学校	10	上杉記念館	2	松川コミュニティセンター
	28	老人福祉センター寿山荘	24	南原中学校	24	南原中学校
サービス提案		スクールバス × 2		バスサービス		
削減ポイント	2, 900		6, 650		2, 850	
各班の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校は統合していく方針であるまた、統合していく中で、スクールバスが必要になると考え、サービスを追加した ・南原中は、その地区の人口が増えることを想定して、住宅地にして活用するか、大型商業施設を誘致するのがよいと考えた ・寿山荘は、近くに小野川温泉があることから、その駐車場として利用するもしくは、スキー場も近いので呼び込みができるのではないか ・米沢市にはオートキャンプ場のようなものがないので、関小学校をキャンプ場にする 		<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校を統合し、まちなかに再編する ・統合すると、スクールバスが必要になるため、サービスを追加したが、その発着場所をコミセンと考えた ・民間に運営をしてもらう施設が7箇所となっていて、多いのが特徴 ・南原の小中一貫校を私立にすることで、削減した ・その学校を、スポーツを盛んにし、強豪校にすることで市外からも学生を呼び込むことで、人口も増加するのではないか 		<ul style="list-style-type: none"> ・南部コミセンは、山大工学部に貸し出し、活用してもらう ・松川コミセンも同様に、栄養大や米短に貸し出すことで活用してもらう ・南原中は、県道沿いにあることから、民間でも手を出しやすいのではないかとまた、道路沿いということで、産直などもよいのではないかと ・コミセンと学校のどちらを残すかから議論を始めてきたが、コミセンを小学校の空き教室に移すことでサービスを減らさずにでき、よいのではないかと考えた 	
講評	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致のアイデアが、コンセプトにもある若者が住みよいまちになるように工夫されている ・民間も公の施設に取り組み出している 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを中心とした小中一貫校のアイデアが素晴らしい 		<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの維持ができているように感じる ・新しい施設の利活用にもチャレンジしている 	

④ 最終結果まとめ（検討エリア 2）

▼ 削減した施設（全体 24 施設 平均約 13 施設）

コミュニティセンターや小中学校、座の文化伝承館などが挙げられておりますが、おおむね第2回と同じ結果となりました。

▼ 削減したサービス（全体 8 種類）

民間でも可能と思われるサービスの観光施設のほか、小学校やコミュニティセンターにある多目的利用の場が挙げられておりますが、おおむね第2回と同じ結果になりました。

▼ 追加したサービス（全体 1 種類）

学校の統合や各施設へ行く交通手段の利便性の向上を考慮し、2つの班でスクールバスをはじめとする「バス運行サービス」を提案しました。

▼ 各班の提言

すべての班で学校に関する提言がありましたが、班ごとに特色のある提言となっています。

4班では学校の空き教室を活用してコミュニティセンターの機能を複合化させるという方法が提言されています。5班では私立の小中一貫校を誘致し、スポーツ強豪校として学生を呼び込み活性化させるという方法が提言されています。6班では4班同様に学校とコミュニティセンターを複合化させる方法のほか、国道沿いの学校を民間に売却するという方法が提言されています。どの班でも学校の統廃合は推進する方向で提言がまとめられています。

そのほか、子育てをしやすい環境を維持するために保育園は残す、統廃合を推進した結果、残った施設や土地を民間に売却してイベント会場を誘致するなどの提言が行われました。

⑤ 総まとめ

多くの班から提言として挙げられていた施設は学校とコミュニティセンターです。

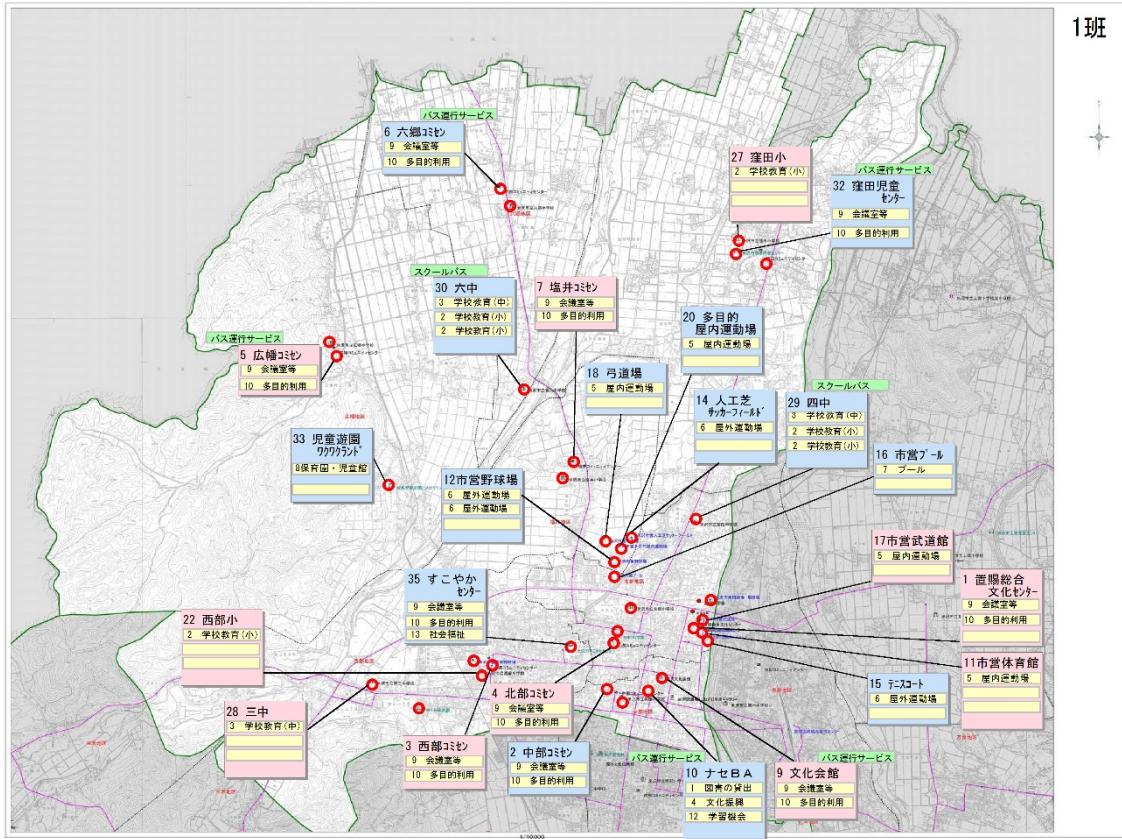
学校は小中一貫校も含め、統廃合すべきという提言が5つの班からありました。統廃合を行った場合、スクールバスの導入が必要だという意見はどの班でも共通していました。また、私立の小中一貫校を誘致し、活性化させたいという提言もありました。

コミュニティセンターについては、統廃合は必要であるものの、避難所や集会所、生涯教育拠点といった地区の拠点として機能は残すべきという提言がありました。コミュニティセンターの機能を学校の空き教室に移転するなど学校と複合化することで機能を維持する方法が検討されていました。

そのほかには、子育て支援施設を維持あるいは拡充すべきといった提言や、施設の統廃合の結果生じる遊休施設や土地の有効活用の方法として、イベント会場や産直施設、福祉施設、美術館、緑地公園といった施設を誘致するといった方法が提言として挙げられていました。

表 各班の再編シミュレーションの最終結果

検討エリア1（中部・西部・北部・広幡・六郷・塩井・窪田地区）米沢市施設位置図



1 班 コンセプト『 高齢者等にやさしいまちづくり 』

再編の考え方

公共交通網の整備で高齢化社会に対応したサービス機能の集約

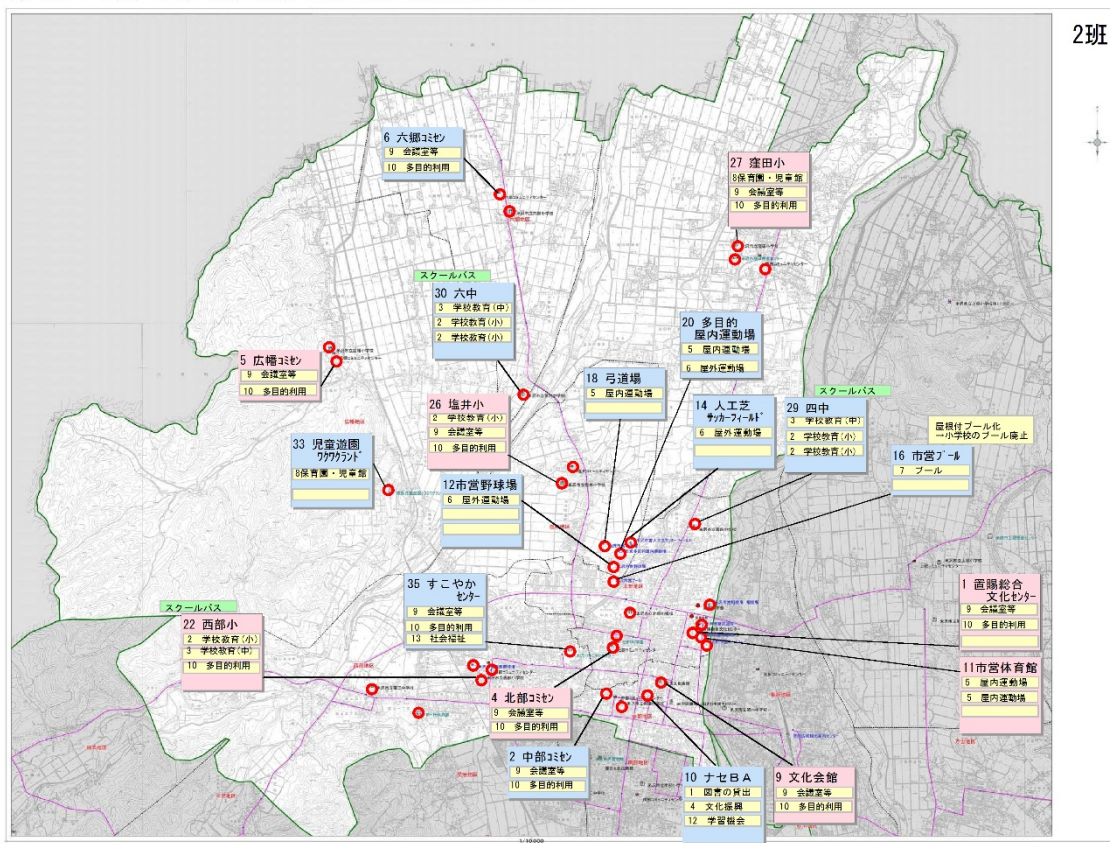
	削 減				ボーナスステージ		
	建 物		サービ ス		利活用 売 却	サービ ス 提 案	アイディア・ 理 由
	カード	理 由	カード	理 由			
カード 理 由	19相撲場	上郷小へ (相撲場)	8保育園児童館	民間へ (児童センター)	13西部野球場	<div></div>	緑地公園 (花)
	23北部小	四中へ統合					
	13西部野球場	市営野球場へ	2学校教育小	南部小へ (興譲小)	21興譲小		新 市立病院 P：立体化
	25六郷小	六中へ統合					
	24広幡小		8保育園児童館	民間へ (緑ヶ丘保)	23北部小		総合学習センター (民間) 複合商業施設
	8窪田コミセン	児童センター 業務移管					
	34ひまわり学園	すこやかセンター へ統合	5屋内運動場	上郷小へ (相撲場)		<div></div>	広幡
	21興譲小	南部小へ統合					六郷
	31緑ヶ丘保育園	民間へ (緑ヶ丘保)					ナセB A
	26塩井小	四中へ統合					六中
					四中		
ポイント	2, 500		1, 200		500	△700	児童センター 市民文化
合計	3, 500						

米沢市公共施設ワークショップ 1 班 3つの提言

コンセプト 高齢者等にやさしいまちづくり

- 1 (施設分類 集会施設)
(内容 バス運行サービスの充実)
- 2 (施設分類 学校施設)
(内容 広い敷地→公共施設へ転用)
- 3 (施設分類 スポーツ施設)
(内容 市民の憩いの場に転用)





2 班 コンセプト『

選択と集中』

再編の考え方

- ・人口年代、分野をふまえて利用しやすい方法を検討
- ・一極集中すべきもの、分散すべきものを検討
- ・営利性、費用対効果の視点
- ・新しい施設に機能を統合

	削減				ボーナスステージ		
	建 物		サービス		利活用 売却	サービス 提 案	アイデア・ 理 由
	カード	理 由	カード	理 由			
24広幅小	3 西部コミセン	機能集約	9 会議室等		23北部小		民間遊興施設の誘致 (ex. ラウンドワン)
25六郷小	7 塩井コミセン						
28三中	8 窪田コミセン				21興譲小		
32児童センター	23北部小	皆川球場で代替 安全面の懸念 野球人口の減少	6 屋外運動場		28三中		民間の給食センターの誘致
	13西部野球場		8保育園児童館				
	31緑ヶ丘保育園	民営化	5 屋内運動場				
	19相模場	利用人口が少ない 小学校にもある				バス運行サービス バス運行サービス バス運行サービス	六中 西部小 四中
	17市営武道館	市営体育館更新時に集約					
	15テニスコート	多目的運動場付近へ移転					
	21興譲小	他校に再編	2 学校教育小				
	34ひまわり学園	機能の集約 (すこやかセンターへ)					
ポイント		3, 6 0 0		1, 0 0 0	7 5 0	Δ 3 0 0	
合計							

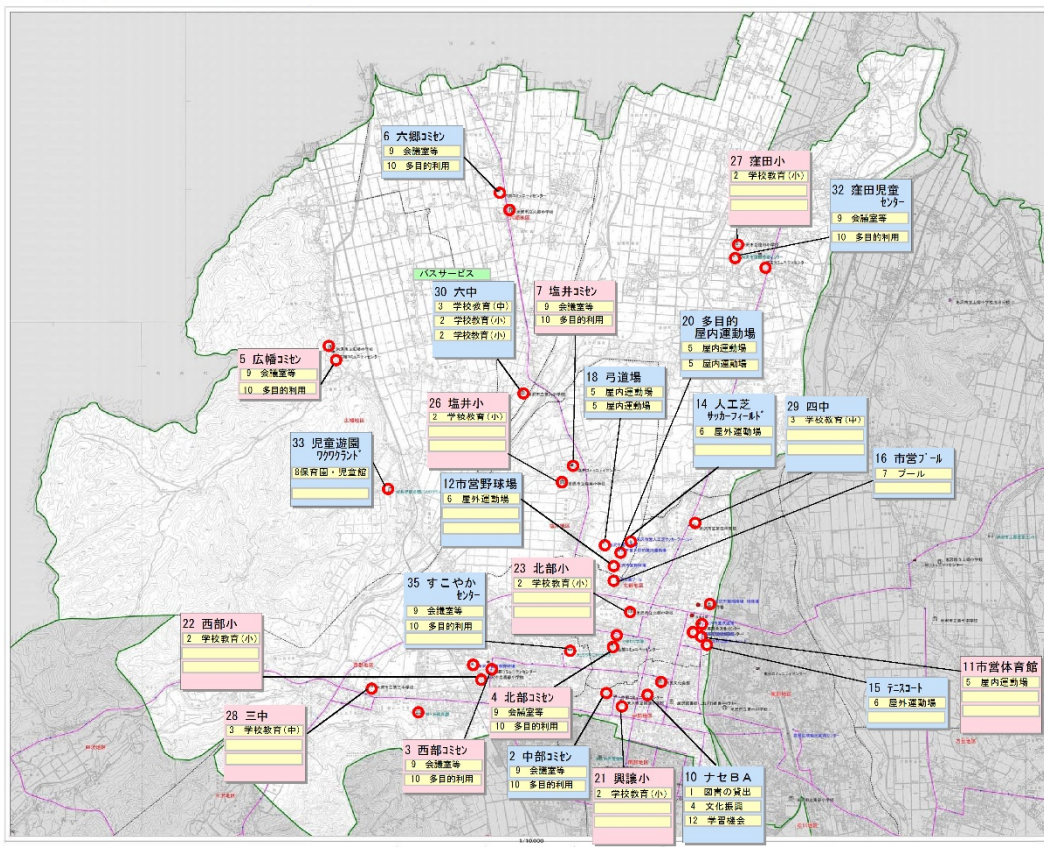
米沢市公共施設ワークショップ 2 班 3つの提言

コンセプト 選択と集中

- 1 (施設分類 **学校**)
(内容 **近隣の小中学校を集約させ、スクールバスを導入**)
- 2 (施設分類 **コミセン**)
(内容 **各地区に機能を残す**)
- 3 (施設分類 **遊休施設**)
(内容 **目的のある民間活用**)



検討エリア1（中部・西部・北部・広幡・六郷・塩井・窪田地区）米沢市施設位置図



3班

3 班 コンセプト 『 みんなが元気で活躍できるまちづくり 』

再編の考え方

- ・ 無駄な施設をなくす。
- ・ 小さな負担、サービス充実。
- ・ 民間の力を活かす。

	削 減				ボーナスステージ		アイディア・理由	
	建 物		サービス		利活用 売 却	サービス 提 案		
	カード	理 由	カード	理 由				
カード 理 由	34ひまわり学園	民営化 (払い下げ?)	8 保育園児童館	民営化	34ひまわり学園	<div></div>	民間社会福祉 施設の誘致	
	31緑ヶ丘保育園	老朽化により 児童センターを 代替利用	8 保育園児童館		1 文化センター		美術館 博物館 誘致	
	8 窪田コミセン		13社会福祉		9 市民文化会館		民間屋内 遊技施設の誘致 及び駐車スペース	
	19相模場	老朽化のため 他施設と統合	6 屋外運動場	屋内運動場と 統廃合				
	13西部野球場							
	1 文化センター	老朽化、他施設 を使用		他の施設の サービス利用			バスサービス	六中に統合 のため 交通の確保
	24広幡小	小中統合	10多目的利用の場					
	25六郷小		9 会議室等					
	9 市民文化会館	武道館と弓道場 統合、他市と 共同利用	10多目的利用の場					
	17市営武道館		9 会議室等					
ポイント	2, 6 0 0		1, 5 0 0		8 0 0	△ 1 0 0		
合計	4, 8 0 0							

米沢市公共施設ワークショップ 3 班 3つの提言

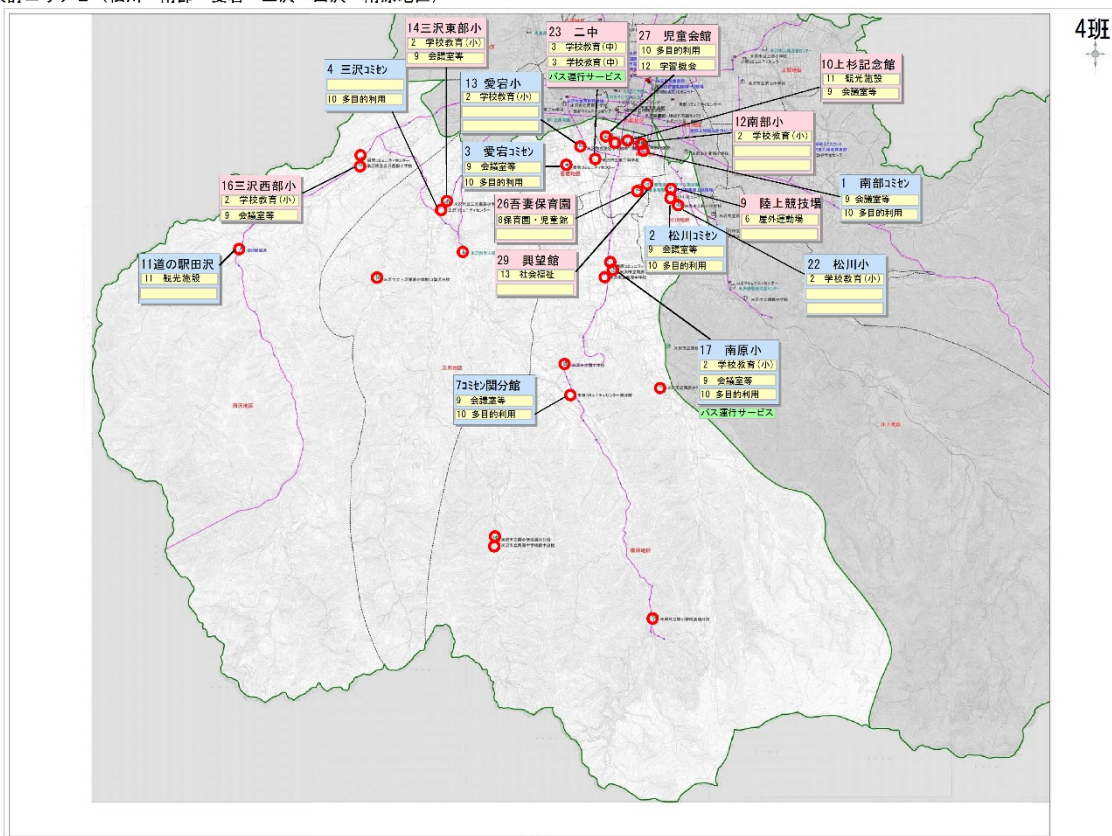
コンセプト みんなが元気で活躍できるまちづくり

1 (施設分類 コミセン)
(内容 地域に必ずひとつは残す。
避難所・集会所・生涯教育拠点)

2 (施設分類 屋内遊戯施設)
(内容 子供がのびのびと遊べる施設)

3 (施設分類 文化センター)
(内容 民間の力を活かして、美術館など)





4 班 コンセプト『 若い世代が住みやすい町づくり 』

再編の考え方

1. 利便性や利用目的を考えた施設の配置
2. 民間でできるものは民間へ・広域でできるものは広域で
3. 目的やサービスが同じような施設を集約

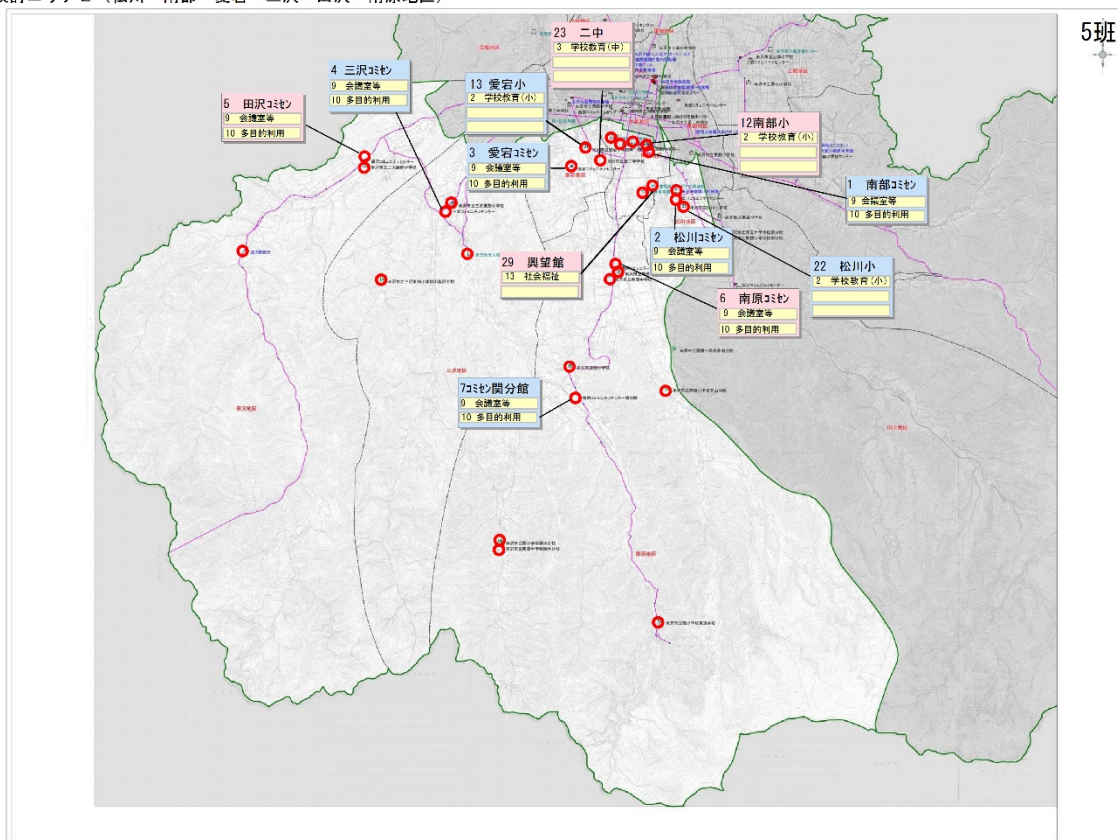
	削 減				ボーナスステージ		アイデア・理由		
	建 物		サービス		利活用 売却	サービス 提 案			
	カード	理 由	カード	理 由					
カード 理 由	18李山分校	住民がいなくなる	9会議室等	他の施設で代替	24南原中	<div></div>	・住宅地 ・大型商業施設		
	15山梨沢分校								
	20高湯分校								
	21綱木分校(小)								
	25綱木分校(中)		9会議室等		他の施設で代替			28寿山荘	<div></div>
		10多目的利用の場	19関小						
	6南原コミセン	南原小に機能集約					・キャンプ場 (オート)		
	5田沢コミセン								
	24南原中								
		二中に統合				スクールバス	南原地区の人が 二中に 通学するため		
28寿山荘	民間温泉施設を 利用	13社会福祉	民間サービス 提供		スクールバス				
19関小	子供がいなくなる、 南原小に統合	2 学校教育(小)		南原小に移行					
8座の文化伝承館		10多目的利用の場							
ポイント	1. 800		900		400	△200			
合計			2. 900						

米沢市公共施設ワークショップ 4 班 3つの提言

コンセプト 若い世代が住みよい町づくり

- 1 (施設分類 小・中学校)
(内容 少子化を見据えて、
同じ機能を持つ学校を統合して今までの活動を確保する)
- 2 (施設分類 コミセン)
(内容 人口減少を見据えて、学校の空き教室を有効活用する)
- 3 (施設分類 保育園)
(内容 子育てしやすい環境のため公設は残す)





5 班 コンセプト『 教育改革によるまちの活性化 』

再編の考え方

- ・小規模校を統合し、まちなかに再編する
- ・学校と居住するところはスクールバスを利用する（民間委託）
- ・小中一貫校のモデルケースを南原につくる

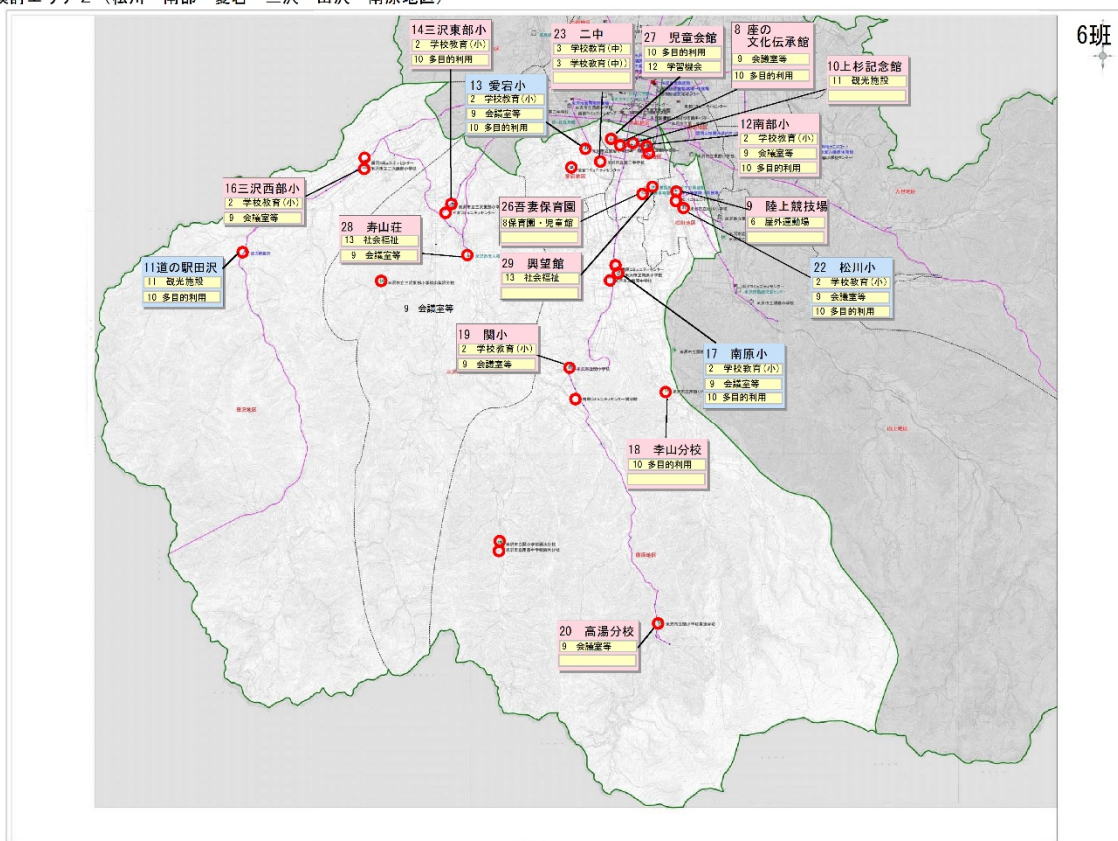
	削 減				ボーナスステージ		アイデア・理由	
	建 物		サービ ス		利活用 売 却	サービ ス 提 案		
	カード	理 由	カード	理 由				
山梨沢分校	18 李山分校	廃校	9 会議室等	児童・生徒がいない	24 南原中	<div></div>	小中一貫校へ（私立）スポーツ	
高湯分校	21 綱木分校(小)		9 会議室等		8座の文化伝承館			
	25 綱木分校(中)		2 学校教育(小)	小規模校のため	10 上杉記念館			
カード理由	14 三沢東部小		2 学校教育(小)					統合して小中一貫校
	16 三沢西部小		3 学校教育(中)					
	17 南原小	2 学校教育(小)						
	19 関小	2 学校教育(小)						
		24 南原中	6 屋外運動場	バスサービス	学校の統廃合のため。			
文化伝承館	9 陸上競技場	8保育園児童館						
上杉記念館	11 道の駅田沢	9 会議室等	民間へ					
吾妻保育園	27 児童会館	10多目的利用の場				10多目的利用の場		
寿山荘		11観光施設				11観光施設		
		12 学習機会						
ポイント	3, 5 0 0		13 社会福祉	3, 0 0 0	2 5 0	△ 1 0 0		
合計			6, 6 5 0					

米沢市公共施設ワークショップ 5 班 3つの提言

コンセプト 教育改革による まちの活性化

- 1 (施設分類 小・中学校)
(内容 民間に売却して私立の小・中一貫校をつくる。)
- 2 (施設分類 文化施設等)
(内容 民間に売却して結婚式場等のイベント会場として活用する。)
- 3 (施設分類)
(内容)





6 班 コンセプト『 質実剛健のまち Yonezawa 』

再編の考え方

機能性を高める

	削 減				ボーナスステージ		アイデア・理由
	建 物		サービス		利活用 売 却	サービス 提 案	
	カード	理 由	カード	理 由			
カード理由	5 田沢コミセン	小学校は地区の行事もできる。 (かぶる) コミセン統合	9 会議室等		1 南部コミセン		南部コミセン 山大工学部の施設として貸出し
	6 南原コミセン				2 松川コミセン		松川コミセン 栄養大、米短の施設として貸出し
	1 南部コミセン						
	2 松川コミセン						
	3 愛宕コミセン						
	4 三沢コミセン				24 南原中		広い土地、県道沿い 産地直送販売 福祉施設の誘致 避難所
	7コミセン関分館						
	25 綱木分校(中)	分校は利用実態がない					
	21 綱木分校(小)						
	15 山梨沢分校						
	24 南原中						
ポイント	2, 100		100		650		
合計	2, 850						

米沢市公共施設ワークショップ 6 班 3つの提言

コンセプト 質実剛健のまち Yonezawa

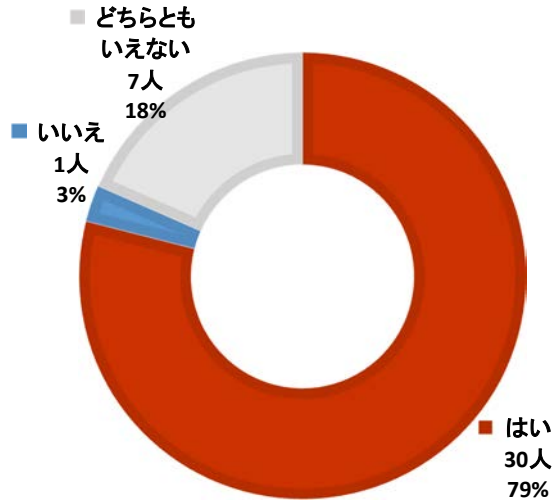
- 1 (施設分類 集会施設)
(内容 コミセンサービスを小学校と統合、建物は利活用)
- 2 (施設分類 学校 (小中学校))
(内容 分校の削減と南原中を売却し、産直施設や福祉施設誘致)
- 3 (施設分類 全施設)
(内容 サービスの維持)



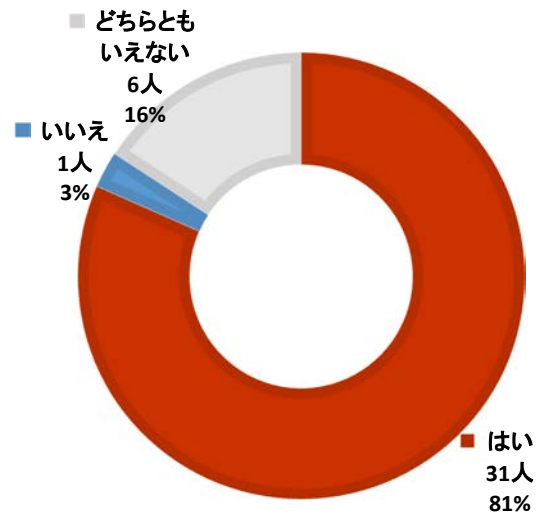
3. 参加者アンケート

第3回公共施設ワークショップにご参加いただいた市民の皆さんにアンケートを実施しました。

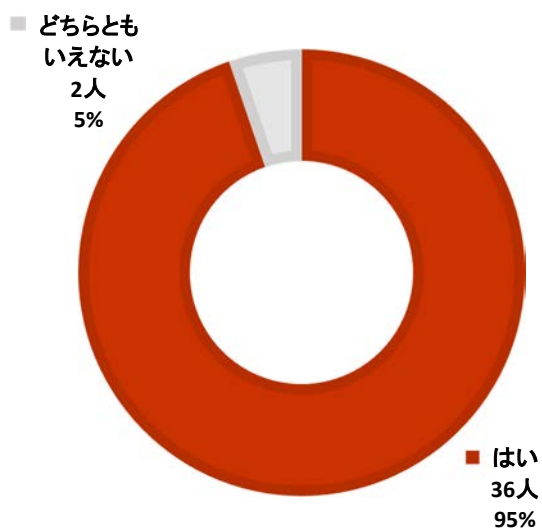
問1. ワークショップに参加して良かったですか



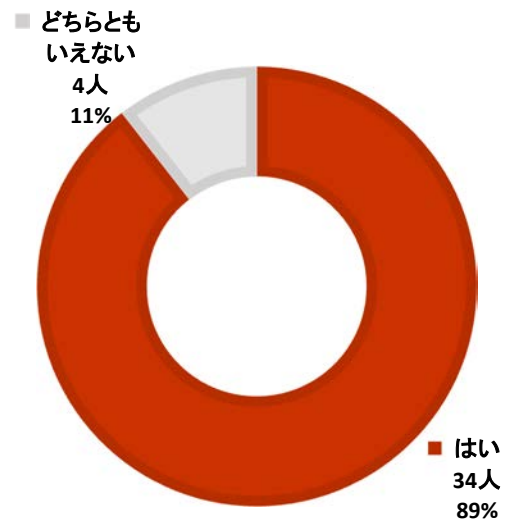
問2. ワークショップの内容はおもしろかったですか



問3. 公共施設への関心は深まりましたか



問4. 公共施設の再編に関する意識は変わりましたか



問5. その他、ご意見・ご感想

市のワーキング委員の方に若手職員を入れても良かったのではないかな。
自らも公共施設にかかわっている立場として市全体像が多少なりとも見えて、非常にこれからの勤務、考え方を固めていくことができると思います
シミュレーションなので、色々な発想が出てくるので楽しいのですが、行政の立場で考えた時、どこまで実現できるか考えると気が重くなった。しかしながら、一つの施設に対して市民の方々も同じように考えている部分もあり、安心したところもあった。
公共施設の在り方の勉強になりました。見方とかはこのワークショップする前と比べたら大きく変化はしていると思います。そういったトコも意識しながら今後は公共施設を利用していきたいと思います。ありがとうございました。
各班の提案が参考となった。(考えもつかないような意見もあり、おもしろかった。)
レベルの高い議論ができた。今後の公共施設のあり方について再認識させられた。
公共施設の統廃合は経済合理性が優先しますが人々が主役であることが忘れ去られることのない様に。ハード先行よりソフトが主の民福度が上がるまちづくりをお願いします。
各班の提言が実現できたら素晴らしいものになると思いますが、残した施設の利用か解体など次のステップも大変になると思いました。
どのようなことをしている施設かわからないものもあり、最初はとてもむずかしかったです。小中一貫校への関心が高く、みなさん興味があったと思います。
ゲーム感覚で考えることができ取り組みやすかった。改良をしていながら他市町村でも活用できるようにしてほしい。立場が違う方々の意見が聞けて良かった。今回の提言は大胆な発想の中で行っているの、計画の中にどれだけ反映させていけるのか選択が難しいと思えた。
少し難しい所もあったが、楽しく検討ができてよかった。
市民の様々な年齢、職業の方の今後の米沢についての話ができて、いろんな考えを知ることができてよい経験ができました。ありがとうございました。今後公共施設の利活用は大きな問題になってくることは確実なので、注目していきたいと思います。
20年後の米沢について自由に考えることがこのワークショップの意義でもあるかと思われるが、法や制度を無視した荒唐無稽なアイデアを出し合って話し合うことは、あまり意味がないように感じた。しかし市職員の方々とお話できたことは、とても有意義であった。やはり、市としての方向性をある程度具体的に示していただいた上で、一般市民も意見を出し合うほうが、実現不可能な意見が多くなりず建設的な話し合いになってよかったのではないかなと思う。
様々なアイデアがあり、勉強になりました。地域には教育の場(小中学校)と、大人の教育、生涯学習の場を残すべきと思いました。統廃合にあっては、交通網の整備が重要だと思います。
コンセプトが大切だと改めて考えさせられた。色々な考えを聞くとたくさんのヒントが有りました。費用だけでなく考え方を議論する事が大切ですね。
20年後の人の考え方、生活は、人情味のない心のすたれた町になるような気がします。

街の将来を考える良い機会になった、又、問題意識を持てたこと自体が良かったと思う。このワークショップの提言が、いつか行政のあり方や政策に影響を与えることがあったら、ぜひフィードバックが欲しい。このような場に参加したい人が増えると思う。
班のみなさんの意見が出てよかった。若い人の意見は重要であると思いました。
施設の再編は、やはり難しい。世代・興味などにより市民の要望は、偏りなくバラつく。その中で一貫しているのが地域活力の維持と、積極的な空間活用だと思った。
世代毎に必要な施設・サービスが異なることが分かった。今後、別テーマでワークショップを実施される際は、世代別・年代別でグループ組みをすると、多様な意見が出されるのではないかと感じた。
20年後の米沢を考える貴重なワークショップに参加させて頂き、ありがとうございました。20年後の米沢、楽しみです。参加させて頂いたこの経験は今後の業に、及び(自己の)考え方に活用できればと思います。
学校、コミセンの統廃合、地域理解を得ることが困難 いばらの道を行政がどうやって進められるか？義務教育(小中)のあり方、避難所の確保、現実問題の課題をクリアできるか？
多くの方の考えを聴くことができ、勉強になりました。市の施設のあり方を今後も継続して検討していきたいです。
よりよい町づくりをのぞみます。
施設が老朽化したら、新しく建て替えるのが当たり前という考え方が固定概念としてどこか頭の中にありましたが、活用方法は無限にあるということに気付くことができました。老若男女様々な世代の方と一緒に話し合うことは非常に貴重な機会となりました。
楽しかったです。自分が考えないような話もあって勉強になりました。